

4F学内

芸祭

1964-2

東京芸術大学芸術祭

1964 | 10 | 1 → 4

9:00a.m. → 5:00p.m.

美術学部

油画科

日本画科

彫刻科

工芸科

建築科

芸術学科

音楽学部

邦楽科

声楽科

器楽科

指揮科

楽理科

作曲科



食堂の人混けの

正午のさりげないざわめきの中でひとり
自分の境界線をさがしながら
エナメルでぬられた天井に
タバコの煙をはき出すと
その一服が
血を濁したのではないかと
卑小な心持で見送る。

突然ふりむいた

女の眉をさえぎって
耳の間におさえられた髪の毛が、
ジーパンのかすれた色と
卓上におかれた赤いバックに反撓して
目だけが動かないで在る様だった。

なぜか

こわれたカメラにも
まだその機能をみせつけたいという
情熱のようなものを感ずるときに似て
指が震え、タバコの灰がおちて崩れた。

停止した時間を全身にあびせられながら
思わず考えるということの
存在の本質から遠く隔離された
無意味な変化に当惑した。

齊藤 重



自分と絵画、彫刻等の関係は、「みる」と「つくる」の二つの時が有る。むろん一つ所から出ているには違いないが、後者は「手」と云うやっかいなものが入る。いづれにしてもその時は愛の時限と似ている。

愛は恋とは別だ。恋は感じるものだ。ひとりよがりなものだ。愛を恋と混同してはいけない。また、しばしば欲望、同情、憐憫、願望などが、急に現われるとかんちがいをする。愛は時を持つ。保守的に出来ている人は、過去に愛のあったそのムードを見つけようとあせり失敗する。

愛が相対的なものであることは云うまでもない。最も大切なことでもある。男、女、父、母、友、本、自然、芸術、対話のできるものすべての部門で見られ、色々な形をとる。その状態は、はりつめた空間だ。びりびりしたものではなく安定した静かな、最低限にはった理性的なものであるべきだ。

「君は君、我は我なり、それでよきかな」何故よいのか。それは信頼しあっている空間が創られているからである。妥算ではない。無条件なものが愛だ。報償はない。愛の下は信頼である。

期待する気持は愛に通用しない。たたけばびびく音だけだ。だが満足のいく様にたたくのも、音がさえて耳に聞こえるにも時間がかかる。よい耳をつくる事だ。

日本の美術館にあふれるほどの美術愛好家と、年々に送り出される若き美術家の作品をとやくは云えない。たとえ自分に愛がなくても、何かを期待はしている。人間のエゴの表われと、自分に信頼のおけないのは、お互い様だ。そこには騒音しかないけれど。

このマークからお選び下さい



〈ゴールデンローズ商品〉
はタカシマヤがつくりだ
した素材・デザイン・機
能にすぐれた創作品です



東京・日本橋

電話 (211) 4111

H君、先日はお手紙ありがとう。君の現在に至るまでの精神的な過程は非常に立派なものであると同時に、学部を卒業して自分の立場に対する分切りもつかずに大学院と云うカクシミノに停迷している自分になんと考えさせられた事でしょう。

かってワラジをはいて北海道を放浪している頃の君には何か強烈な他を受けいれない独自の、ほんとうの君一人の世界が有ったように思われる。その君が卒業してすぐ自分の行なっている創造活動が小ブルジョアの自己表現にすぎないとして左翼活動を通じて労働者の中に安心出来る創作場を得るに至った事は驚きでありまだ半信半疑な気持です。

手紙の中で君が一番強調しているのはやはり、根本的かつ原則的な問題である誰のための芸術かと云う事、そして我々が現在必死になって務めている芸術の向上とは何を基礎としての向上なのかと云う事でしょう。そこで、芸術家は唯一の、もっとも広く豊富な素材の源である大衆（労働者）の中に入って行かねばならない。そし

てその素材を観察し体験し研究し分析してはじめて創作過程に入るべきでこれらの対象を見つめない芸術家はからっぽの芸術家である。すべての基礎は小ブルジョア知識人ではない、プロレタリアートの中にこそ存在するのだ……と仁王様の様に足をふんばって叫ぶ君の姿が目に見え、そしてブルジョアジーからの深い影響を受け、抽象論争に明け暮れる諸士を非難し、「すべての意識は存在が決定し、階級闘争の客観的現実がわれわれの思想感情を決定する」と云うマルクス主義の見地に立脚する君の意見には、一つ一つみな真実がある。それを否定するつもりはない、しかし私の肌の中に何かふっきれないものが残る。つまり、存在の法則と価値の法則は別のものであり、人間生活と云うものは多様性を有しているもの、その多様な人間生活の他の次元（ブルジョアジーではない）にも芸術は存在し得るのではないか、それは階級をこえ、広く人間性に立脚し真剣に生活する人間そのものの中にある。芸術を論ずるに何故形骸的な階級を論じなければならないか、形の差こそあれ人間には共通に喜怒哀楽の生活がある。その中でプロレタリアートの芸術だけがほんものだとする所にしこりを感じるのだ。

登龍門

油3 | 柴田竜司

ぼくたち多くの青年、学生は、現在大きな壁の前に立っている。その壁は社会に対する不安であり生活のくるしみであり、類廃した文化、スポーツの情勢の中にあるということだ

ぼくらはみんな希望に充ちて芸大の門をくぐり、何かを期待していた。しかし、学校は考えていた程には、自由ではなかった。昔ながらの技術取得のみに重点がおかれた授業内容にはうんざりさせられた。一年で石膏デッサンをやり、二年では人体デッサンを中心に授業が組まれている。

そして、学生生活も二年過ぎれば、そろそろ卒業後の事を考えるのは、だれでも同じだ。

「卒業後」のことを真剣に考えている者が何人いるかわからないが、考えているものは、少なくとも見とおしの自分の将来に大きな不安をかかえ、残された一年幾

月かの期間をどのように、勉強するかを今こそ真剣に考える必要がある。ここで「見とおしの将来」といったのは、作家として立っていけないという狭い意味だけでなく、作家を志しながら、食うことにおわれ、一日中働かねばならず、生活と制作のバランスが、どうしてもとれないまま、何もくるしみ、ついには志を捨てねばならないような状態になることだ。

芸大での授業があくまで技術取得のためにあるのだしたら、ぼくらは、そのまま4年間を過ぎてよいはずがない。ぼくらの世代の美術をぼくら自身の手で、育ててゆく責任を一人一人がもっている。まわりを見ると、現在マスコミの主流にのって得々として暴れまわっているものがある。又、あらゆる団体展の中で、その派閥の系列に組み入れようと必死になっているものもある。

これ以外には、作家として、生きる道がとざされているかのような錯覚を、悲しいことだが親しい友人たちの中にも大勢いるということだ。現在のマスコミは決して作

ハイネを見ても、ゲーテを見てもそこにはそれぞれ対照的な真実があるのではないか。又熱心なクリスチャンでなければキリストの芸術作品を創り得ないか、子を亡した人だけしかその悲しみを芸術的に表現出来ないか、決してそうではない。そこに芸術の芸術たるゆえん、芸術家の芸術家たるゆえんがあるのだ。君の手紙の中では何か芸術が政治や革命の中で窒息してしまうのではないかと思えてならない。こんな事を云う君はきっと、お前はすでにブルジョアに侵蝕された芸術至上主義者だと笑うかもしれない。しかし私は決して君を否定しようと思わない。複雑な精神的過程を経て現在の君に到達した中には、私のわからない君の生活上の、芸術上の真実があるように感ずるから……。私は芸術を定義ずけて論ずる空しさより、君の実践上のその真実を尊びたい。今の芸大にはその空しさすら見当らない。サラリーマン化した学生は、私もその一人かもしれないが、いたずらにセクト主義の中に流されて行くだけ……。

カジヤで働く君の姿を考えながら一日でもはやく、君と対等に論じ得る地面の上に立ちたいと思っている。

それでは又、君の勇気を祈りつつ。

家を育てない、いいかえれば美術を育てない。食いのものにしているのだ。

事実を見てみよう。多くの若い作家が群ってきた読売アンデパンダン、マスコミが必要としなくなると廃止されてしまった。そのため若い作家は毎日美術展に殺到した。残された唯一のマスコミへの登龍門なのだ。ぼくらの先輩たちもこぞってこの登龍門に殺到した。そのときの絵を、その時の先輩たちの状態を決して忘れることはないだろう。

それは卒業制作後二ヶ月とたたぬ間に、こんなにも自分をすててまで、マスコミに名をつらねようと絵をかえてゆかねばならないのかという憤りと、おどろきがあった。若いぼくらはこんなことを決してゆるしておけない。盲目的に現在の美術に服従して自己を売りわたすような行為は一人でも早くやめねばならない。

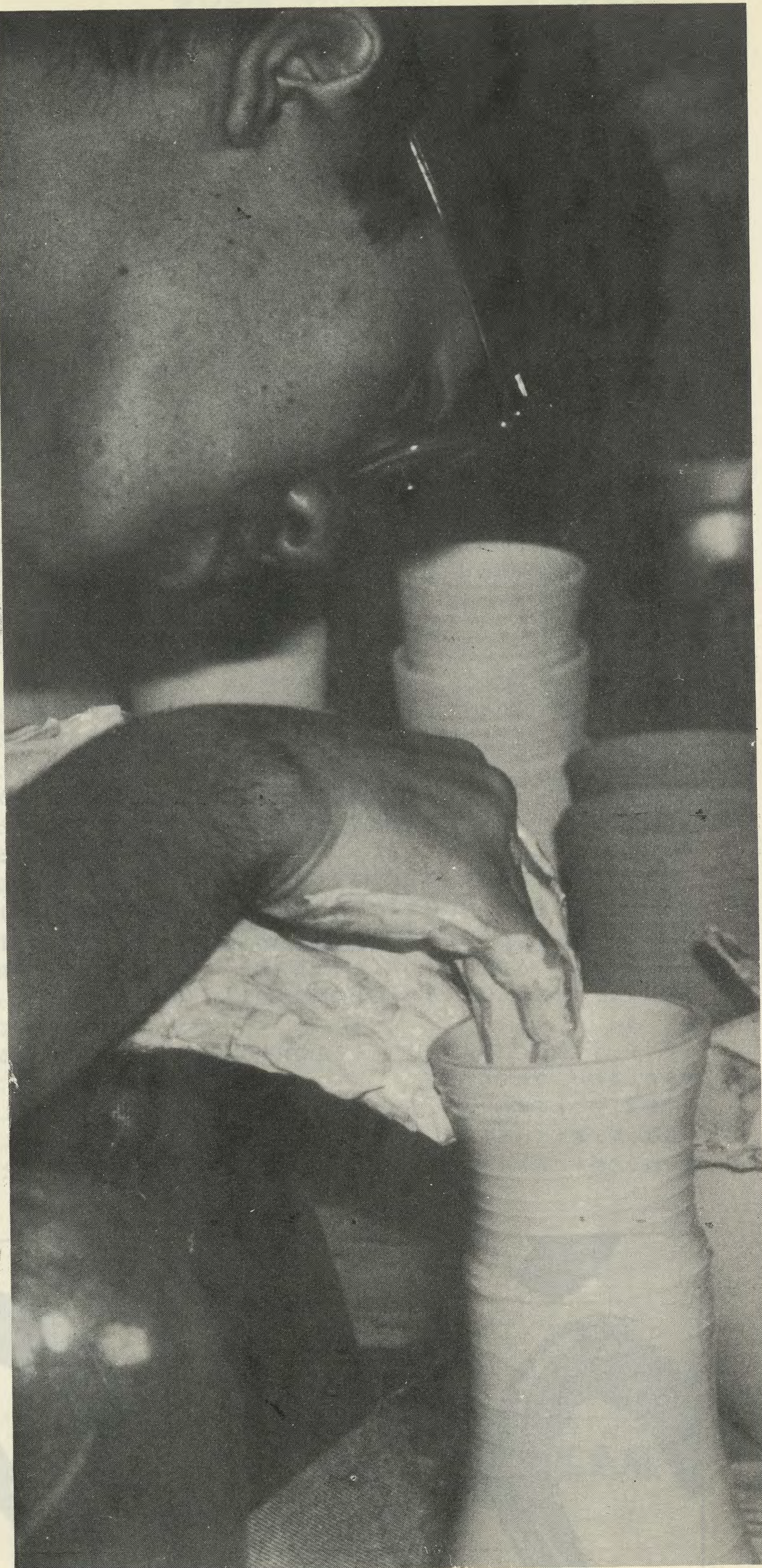
未来の社会に責任をもつものは、ぼくら青年学生であり新しい美術を育ててゆくのも、ぼくらであるからだ。



月刊 うえの は
創刊以来 利行の
表紙で評判です。

上野の水人会発行

文京区 湯島 天神町 3の35 (池の端ビル)





S君とT君に提出する2つの問題

工4 吉本直貴

ぼくの友達S君やT君は、いわゆる「民芸」というものに非常な関心をいだいている。そして彼等はそこの形式や様式ではなく、「民芸の精神」を学びとりたいたいと思われてならない。民族文化と民衆芸術とは同質のものではないが、ここでは特に民衆的文化というものについてのぼくの感想を述べ、彼等の思考方法を拓ける一つの要因をつくりだそうと思う。

日本の民衆によって創りだされてきた音楽、文学、造形物などにわれわれは日本人としての生命か、いぶきを感じることができる。そこには日本人としての共通の感情をいだくことができる。しかし現在われわれの周囲に大量に生れてくる音楽、文学、造形物にわれわれは日本人としての、また人間としての共通の広場をそこに見出すことができるであろうか。そこには、かつて日本人が生み出してきた生命力、楽天的、健康的な明るい、いわゆる芸術をみるができない。それは利己的であり利己的であり、孤立的であり、不健康なものをぼくに与える。現在、このようなたぐいのいわゆる芸術が生じてくるのは一体どういうことであろうか。時代の流れ、時代そのものは、その時代の文化にそのままのかたちで反映されるものだ。現在のこのような病的な文化現象はまさに現在の日本の国家状況が生みだした病的な現象によるものである。なぜなら人間の思考方法、価値判断、行動様式、意識全体はその時代の国家の状況によって決定されるものだからである。そして国家状況はその時代の生産関係、生産様式から派生してくるものである。してみると現在の日本、世界はどのような状況をわれわれに程し、それがどこに原因をもちそれらはわれわれの思考方法、価値判断、行動様式、意識等をどのように決定しているか、このことを追求してもらいたいのが彼等に提出したい問題の第一点である。この点の認識なしには新しい文化創造への志向は不毛なものとして終るであろう。

われわれが現在みる日本人の生みだしてきた、いわゆる民族文化は、そこに生活する人々の共通の意識、連帯的な精神風土の上にできあがってきたものであるとぼくは考える。かれらは共同体のなかに生活する人間として

「われわれ」という連帯意識、行動にささえられて創作活動をおこなってきた。そこにおける作者は発想、思考、創作、行動等を「われわれ」という普遍化された立場でおこなってきた。創作活動は本来作者の主体に深くかかわるものであるが創作過程においてモチーフに対する主体のイメージは「われわれ」という立場まで普遍化されてゆくものでなければならない。衝動や奇異やおもいつきなどによって生じる作品はただ一つの「もの」にすぎぬであろう。芸術というものは作家の主体が普遍化され「われわれ」という共通の意識、基盤、あるいは連帯的な精神をもちえたとき、はじめて生産されてくるものではないだろうか。

ぼくはここにS君やT君の言う「民芸の精神」があるように思われてならない。そうしてみるとこの「われわれ」という立場とはなにか。現在ではどのような立場をとることが民族文化を創造してゆく立場であるか。これが問題の第2点である。以上ぼくはとりあえず2つの問題をS君とT君に提出したいと思う。もとよりこの2つの問題は深いつながりをもっているからばらばらに考察してゆくことはできない。そして時がきたらまたどこかでS君やT君とそれまでの成果を話し合おうと思う。現在、真の文化とはなにか、それを創りだすのはだれか、また、真の文化創造に参加してゆくためにわれわれはどのような主体を形成してゆくべきか、このことを以上2点の問題としっかりむすびつけてけっして観念的な思考にならないように追求をしていってもらいたい。

芸術学科紹介

芸2 | 岩田弥富

われわれは最近三人の先輩を、ドイツ、フランス、ベルギーに送り出した。今回ドイツに留学する先輩は美学をフランスへ留学する先輩は美術史を、ベルギーへ留学する先輩は補習技術を学ぶことになっている。芸大芸術学科は1学年10人前後の小世帯であるが過去において四人に1人の割りで、ドイツ、フランス、スペイン、イタリア、アメリカなどへ留学生を出しているとのことであ

る。それもそのはず、われわれは英語の外に少なくとも二ヶ国語を徹底的に学ぶことを要求されている。芸術という言葉のない国際語を学ぶには、国際的に視野を広げる補助手段として、各国語を学ぶことが必須条件であることはいまでもない。又芸術にたずさわるものは、それが創作者であろうと学者であろうと、外国へ行ってその豊かな文化遺産を自分の目で究めたいと思うのは人情である。その点芸術学科は芸大の他のどの科よりも恵まれているといえよう。芸術学科の主要な目的は、実技ができ、真に芸術を理解することの出来る学者や評論家の養成にあるようである。実際、実技は1年次においては油絵科にまじって、油絵科と同じ量のデッサン及び油絵を描き、2年次では毎日午前中彫刻をやる。此れは彫刻科の1年と同じ量である。3年次においては日本画をやる。また学科は美学美術史界の権威をそろえた教授陣によって、ほとんど個人教授に近い指導が1年次から行われている。したがって教授と学生の間は極めて親密であり、先生の方は生徒が日常どんな事をしているか熟知しており、生徒の方は先生がどのバーで1パイやるかまで知っているとのいった具合である。

しかしながら、われわれは非常にリベラルな環境におかれているため、個人個人自由に個性を伸長させることが出来、卒業生の動向を見ると、その進出方向も、学者や博物館美術館、各種研究所は云うにおよばず、NHKその他の報道機関、毎日新聞社などのマスコミ関係から松下電機などの一流生産会社にも広く進出している。また、入学時において、実技がデッサンだけしかないことから将来画家等になりたいが、高校時代に実技に充分時間をさくことが出来なかった人もだいぶ来ているため、卒業後作家になってしまい、現に画壇で活躍している人も少なくない。最近ではパリの美術学校を優秀な成績で卒業し、帰国後個展を開いた作家もいる位である。

ただ1つ残念なことは、発足以来日が浅い為（新制大学発足と同時に当科も発足）卒業生が年令的にまだ社会の中核をなすところまでいっていないことであろう。第1回卒業生は15～6年前に出たばかりで、音楽学部イタリア語講師辻先生や奈良研究室の山川先生図書館の徳永さんらがそれである。だがまだまだ年がたつにつれて、わが芸術学科の存在も高く評価されるようになるだろう。それこそわれわれが望みかつ努力して達成せんとしていることである。

日本一の近代広告会社



株式会社 電通

本社・東京都中央区銀座西7の1
☎ 571-8111・572-8111 大代表
支社・大阪・名古屋・福岡・札幌
支局・全国主要24都市
海外支局・事務所・ニューヨーク・
バンコク・ワシントン・シカゴ・ロサ
ンゼルス・サンフランシスコ・ホノ
ルル・パリ・メルボルン・那覇・台北

最近、私は特に絵と云うものは、言葉で語る領域ではないと思うようになりましたので、絵について述べると、恐ろしく変な事になってしまうと思います。しかし、何故絵を専攻したか、絵を何故私は描くのかについてなら、多少書けるような気がします。これ等に対する理由は、この地上で、真剣に生きているあらゆる人々が、各々、目的を持ち、ひたすらに生きている現状を見て、私は、一体、何を心の励ましとして生きていくのかを考えたのです。絵は、生来、好きでしたから、初めの頃は、別に絵を描く事は、苦しい事ではなかったのです。ところが、除々に何かを、探求したいと思い、人と人との間に流れ合う何ものかを、表現し伝える事が出来たらと思う様になりました。私の知人は、父親となって五十才の今日、暇がある毎に、（本人は、趣味と名付けていますが）若い頃の記憶をもとにして、印象の強かった景色とか、人物を描いていますが、それを見て、とても絵とは、いいものだなと思ったのです。何才になっても、心のよりどころとして、絵心を大切に暖めている人の純粋な気持ちに感動したのです。従って、ここには、ただ家族の人に鑑賞してもらって、素人批評を受ける時を楽しみに待つ気どらない態度があります。私は以前、絵の出来具合、即ち成巧に終わったか否かを苦にしていたましたが、こう云う人の、心の安らぐ淡々とした、ごく自然な気持ちが、わかってから、絵を描くはりあいが出て来たのです。その作品が、社会に受け入れられるか否かは、第二、第四の問題であって、絵を描くと云う仕事は、生きるための原動力ともなり、これからの種々な苦難に耐え得る精神（心構え）をつくっていく事になると信じています。人生に於ける一大事を切り抜けていく勇氣と、ねばり強い確固たる意志を育てるのにも、描く上に、厳しく自己を見つめ、自己と闘っていく事は、私にとって有意義な修業でもあり、自己鍛錬なのです。真夏の炎天下でも、スケッチする事は、体力、気力、両方を考えてみると、並大抵の費やしようではない事がいえます。この創造する為の努力は、そのまま、現実の社会を生き続けなければならない努力に通じています。一生、絵で生活を立て画道一筋に頑張る人もあり、創作活動以外に一般の人々の中に混って且つ、他方面から研究課題を持ち生きる人もあります。いずれにしても絵の世界は、現代に失わ

れた、即ち、現代では想像も及ばないような夢を、画面に創造する事の出来る楽しさがある故に、こつこつと描きたいと思います。

今我々は何を学ぶべきなのか工2 加畑義人

あらゆる時代の、又あらゆる民族の歴史は、その時代の文化に鮮明に反映して来る。そして又我々にも現代の社会を創作の面において、その背景を何らかの形で呈示する事になろう。しかしこの点に関して考えるべき事は歴史の動向を受動的に反映して行く事よりも、積極的な態度で働きかける要素と言うものを、つねにつかんで創作活動に従事すべきであると考え。そしてそのためには、我々は今どのような事をなさねばならないのかという事が大きな問題として浮び上がって来る。無論学生生活においてそれ相応の感覚と技術を身につける事は必要な事であるが、果して今から社会に出て、デザイン活動にたずさわろうとしている我々は、それだけで満足してはいはずがない。感覚・技術というものと並行して学ぶべき事は、現代社会の確固とした把握にあると思う。すなわち、主観的幻想に陥らず、あくまでも客観的な立場で冷静に、現代の社会というものを捕え、そしてその中から、我々の希望する未来に対しての可能性を探り出しそれを育てて行くのが我々に課せられた創作活動であると思う。この意味において始めて、我々の社会に対する任務というものも明らかになって来ると思う。高度の技術革命による機械文明の発達、至る所にその暗い影を投げかけている。そしてそれは物質生産という枠から人間の精神的な分野にまで入り込んで来ているこの動向は今や全世界をおおう勢いかに見える。その中にある我々は、過去における芸大の学生と同じ講義や実習を受けていたのでは、自己の本当の主張というものを、創作に反映するという事は不可能になって来る。すなわち、大学という名を持った本校の講義の科目を見るにつけても、学校側は我々に対して、どのような人間像を要求しているのか、皆目見当がつかない。個性の尊重というような言葉もどこかで聞いた事があるが、その個性とて、現状の社会でどれだけ通用して行くのかという事は疑わしい限りである。昔とそれ程変わっていないらしい一種のマンネリの授業は、我々に全然魅力らしい魅力は感じさせない。

今時、憲法や経済の講義がない大学というものが存在する事すら不思議である。現状のまま、我々が創作に対する態度を維持して行くならば、学園という一種の温床的環境から一步社会の中に足を踏み入れた時、もろくも自己は、社会的諸条件のもとに客体化され激動する現代の波の中にその姿を解消せしめる事になろう。このような事を念頭において、現代の社会をとらえず、感覚と技術のみに自分をゆだねていたならば、社会に出た時、我々自身が身をもって、その「ひずみ」を味わう事になるだろう。

創作と社会

13| 中村八州須

私がこのような問題を扱うには力不足かも知れないが現在の自分を点検する意味で述べてみたい。
我々の周囲の人々はよく「これからの社会のビジョンを確立して、長期的な見通しを持って創作しろ」という反面、自治会が政治的な問題（それが学生も含めて全日本人の問題であるのに）をかけると、まるで目のかたきであるかのように反対し、又は積極的に非協力的な態度に出るのである。しかしこの両者は現実社会をリアルに拒んでいないし、真剣に社会と個人、創作の問題を考えていない点で同心程度にあやまっているのではないだろうか。創作の問題に入ると、作品をつくるのは確かに我々自身であるが、しかしそれを見るのは他人であり、一部の経済的に豊富な人を除いては、創作者は作品を売るか、もしくは提供する事によって生計を立てており、程度の差はあれその作品によって、個人もしくは社会に一定の影響を与えており、この点で創作活動は誰が何と云おうと個人的な存在であると同時に社会的な存在である。しかも社会は必然的に質や程度の差はあっても作品に反映されるのである。

さらに社会構造の面で芸術はどんな位置にあるだろうか、現代に関して言えば、資本家が労働者を使用し支配すると云う生産関係と、高度に発達した科学による機械的生産という生産力の二つから成立する生産様式、つまり経済という下部構造があり、それを土台として上部構造としての政治、道徳、宗教、文化、芸術、思想等があり、下部構造の変化と共に上部構造は変化し、又上部構造は客観的には下部構造なしには存在し得ないし、常に

流行のトップをゆく
ファッション……
伝統の
みやびなきもの……
産地直送の
香りゆたかな
風味……
いつも
新しい暮らしの
夢をおくる
三越！

受けて重宝 三越の商品券
一〇〇〇円券まで各種／全国本・支店売店共通



■日本橋本店／中央区日本橋室町一の七
■支店／銀座 新宿 池袋 丸の内
大阪 神戸・高松 松山 仙台 札幌



下部構造によって左右されるのである。

現代の日本は封建的要素を含みながらも高度に発達した資本主義の社会であり、外国に従属した形の下で、資本の集中が急速度で進み、それと同時に中小企業の倒産が増大し、農村は崩壊して労働者は増大する一方である。

又資本主義社会での合理化は失業と労働強化をもたらし、実質賃金は低下する。政治は軍国主義の方向（憲法改正、自衛隊の増大、マスコミ宣伝等を見ても明らかである。）に国民を追いやり、文化芸術は頹廢的である。

芸術の分野に於ては、リアリズムの傾向とそうでない傾向の二つがあり、そうでない傾向はそれがアカデミック、抽象であるとかかわらず支配者にとって不利益でない故に保護され、温存されて来たが、一方リアリズム芸術はマスコミや教育によって、それが社会をリアルに描き、人間の共感とさらに社会発展の方向、社会の変革を目的すものであるが故に無視され、デマ宣伝と非難を指受けてきた。しかし歴史の法則はいかに国家権力やマスコミを総動員しても消し去る事は出来ず、リアリズム芸術は民族独立運動の発展や労働者階級と民主主義と平和を求める人々、生活の向上を願う人々の増大と共に、大きく社会の前面に出てき、今やリアリズム芸術は社会発展のための積極的な大きな力となってきている。

芸術の個人的存在であると同時に社会的、歴史的であるという矛盾は積極的に社会の動き、歴史の流れの中での新しい、すばらしい要素を拒み、社会への働きかけなくしては解決し得ないのではないだろうか。

特に芸術は観念的であると同時に、社会的歴史的産物である事を強調したい。

問題は作者がどういう立場に立って、社会と歴史の動きをどの程度リアルに把握し、マスコミと既成社会の圧力を恐れず表現することが出来るかにかかっているのではないだろうか。

現在を起点とした邦楽のあり方 邦3|Y.K

現在 音楽家 音楽雑誌 音楽評論等という場合 西洋音楽のそれである。

明治までの日本の音楽は、現在邦楽という名称で呼ばれている類であった。

明治以降に日本に入って来た西洋音楽が、この様に隆盛

で、音楽→洋楽となったのは何故であろうか。千年の間様々な変化はあったけれど続いて来た邦楽が、音楽の、何か特別な部門になってしまったのは何故か。洋楽といわれる西洋音楽は明治維新後の新しい日本にとって、生活様式の西欧化と共に、さけがたい魅力と珍らしさを持っていたと思う。それは従来に無い合理的で体系だったものであり、封建制度の社会から、民主的な制度に移った明治期に全くぴったりのものであった。又邦楽の場合、芸の純粋性を尊ぶあまり、その普及性に欠ける点があるけれど、洋楽の場合、統一された記譜法、体系だった理論書及び練習書等があり、学校教育に非常に好都合であった。そのため、学校に於ては洋楽のみを教える結果となり、社会人となった後邦楽に対する興味を仲々持てなかったり、見すごしたりする事になる。これは音楽に限らずすべての芸術に大切な点であり、鑑賞する能力を持つ人々がその発展進歩に大いに必要なのである。いかに秀れた音楽でも共に楽しむ人間が存在しなければ価値は半減する。よってもし、学校音楽が邦楽であったなら、あるいは逆の結果が出るのではないかと想像できる。しかし、邦楽が衰え洋楽が盛んであったにしても、数十年約一世紀近く洋楽と共存して来たのである。日本の音楽としてその価値はやはり大であり我々の心の中で身近に感じる要素を含んでいる。楽器があり奏する人がいて、楽しむ人がいて、人間にやすらずと精神的高揚を与える曲があるならば、すべて音楽である。邦楽は、対人関係の複雑さ、体系づけられた現論を持たない事、資料に乏しい事等で、洋楽の方がより優位であると簡単に考えられているけれど、近頃いろいろ研究もされ改革もされている事だから芸術の最終目的を求めるに充分の力を持つ音楽と信じている。我々邦楽を学ぶ者にとって洋楽の知識、旋法を知る他に、音楽としての邦楽の価値をもっといねいに学んでゆくべきだと思う。又、邦楽の一部を一素材として扱ったり、感覚的に模倣した作曲に対しても鋭い目を向ける必要があった洋楽と邦楽を、あまり安易な融合点に結びつけようとしたり、打開策等と考えるより、邦楽の本質的な価値を見極める必要があると思う。洋楽を学校音楽として学び、今邦楽を学んでいる私達は、邦楽の美しさを大切に育ててゆくべき努力をするべきである。

音楽会に全知全能の神のお越しを願ったら一体どんなことになるだろう。と思ったりする。なに相手は神様のことだわざわざ会場まで御足労願うことはない、雲の上に居らっしゃっても十分用は足りるじゃないか、といわれればそれ迄だ。神様じゃなく

雨の降る夜、初めて歩く路々ふとピアノの音が聴こえてくる。どこの誰だか知らないその弾き手を、若い素適な娘さんに想像してみる自分を馬鹿だと思ふ。その馬鹿さかげんが何とも言えず懐しい。

「合理的」というものに気を抜かれてポカンとさせられることがある。速さの変らない曲の演奏所要時間を計るのに、指定の速さと小節数との計算で出してしまう時だ。もう1度実際に演奏して計ってみて、あ、やっぱり同じだったよ、なんてのが音楽なんじゃないだろうか。

もしとてつもない新薬が考え出されて、人が死ななくてもよくなってしまったとしたら、音楽なんか失くなってしまふんじゃないかとそんな気がしてならない。人間は死にたがらない、自殺する人達だってその事を利用しているだけだ。だが死程人間というものにとって大切なものはないのではないかと思う。死に対応するのが生がから……。

昔、自分が試験などでさかんに苦勞して吹いた憶えのあるメロディを、ふとラジオで聞いたりする時、泣きたい程懐しい思いをするのは私だけだろうか、今より若かった自分の命がなかば手さぐりの様にして青白く燃えるのを遠く見るような気がする。人間が過去を飾りたがるのではない、過去の方で人にいやな思いをさせないだけだ。と小林秀雄は言っている。過去というものが精一杯燃え続けた自分の命の2つと無い、戻ることの出来ない通り路だとしたら、それは当り前のことではないか。

冷たく合理的に計算がされれば、その存在価値のあわや無くならんとする音楽、その音楽をなぜ人は作り、奏で、聴くのだろう。人はあくまで神でなく、神のお持ち合わせにならない貴重な馬鹿さを持っているから、いつも手さぐりで命の火を尽きる日迄燃やし続けるからではないのだろうか。

本当の事にはいつも突き離されている人間その人である私はただしきりにそんな気がして仕方がないとしか書けないで残念だ……、がそれで良いのかも知れない。

夏の夏はサーフィンのリズムが流行しました。

* K & Kはいつも変らぬ人気を保っています。

TV提供番組
火・木・土正午より
日本テレニュース
4チャンネル



信用あるこのマーク

K&K®

発売元 (株) 国分商店

国分商店の
優良罐詰

創作活動にたずさわる者にとって、自分が今、どんな問題意識を持ちあわせているか、その問題意識は自分の日常生活の中で、どう反影されているか、それが社会的関連の中で、どういう意味を持っているのか、つまり、これらの事は創造の立場に於ても言える事になるわけである。場合、問題意識の把握に関して、何をしようとしているのかが問題になるのではなくて、何をしなければならないのか、しなければならない事に対して創作活動を通し、それが、つまり問題意識がきたえられているか否か、要するに何が問題なのかを、はっきりと知った上で目的の設定を試み、創作活動を通じてその意義を見つけ出し、厳しく自己をその目的に追いつめて行く段階に今はあるんだと言えないだろうか。

この様な意識のもとに目的の設定を見出し創作するならば、その人にとっての全行動は問題意識の反影として、とらえる事が出来るのであり、この事は疎外の意味する所から主体の確立へと示向させ、諸芸術がたまたま陥る頽廢の危険など存在する事はなくなる事になるはずである。ただ、設定された目的は、現実と対応した瞬間から厳しく検討され、しばし、右か左かの決定をせまられる。この場合どちらかに対して厳しい否定の場に立脚する事になるわけで、それは明確な方法論とそれに依って導きだされる実体とが、再び厳しく検討される事で、新たな目的の設定を生むというプロセスをとる。と、同時に実践される問題意識は、その中心に对称の「テーマ」

と「構え」におかれなければならない事は持論である。なぜならば「テーマ」こそ社会的歴史的存在の個人の右か左かを決定づけるものであり、「構え」が現実に対する個人の働きかたを示すものだからである。

この二つは我々が創作する際に、まず考える問題ではないか。この時、始めて、その人の活動は評価の対称になり得るのであって、評価の対称（これは評価の問題ではない、対称が問題なのである）となり得ない作品にあっては、本人の思考と実践とが普遍的な意義をもちあわせる事になり、又思考が創作活動に対し有効である事を意味しないのである。対称の評価を決定する要素は「テーマ」の正当性と、テーマに対する「構え」とであり、例を課題にとってみても、これに関して厳しくならざるをえないのである。つまり機能的解決や造形的解決のうまさとは、それ自体としての意味は大きい、プロタイプとしての正当性を裏づける時、これらはその一部を成すにすぎないのである。問題は「テーマ」と「構え」に対する機能的解決や造形的解決を決定づける「媒介」をとらえる事にあるわけで、経験的解決、つまり技能的解決が評価の中心になる事は、まちがちなのである。

私はこの様な立場で作品の評価を試み、課題と取組もうと努力している。この考え方自体、近いうちに書きかえられる可能性をもっている。これらに対して唯物弁証法が大いに役立つ事を信じて疑わない。

よどんだ暗い大気の塊はほんとうに黒かった。そんな部屋の壁に裸婦がぶらさがってはいたが、彼はろくに見もしないで木炭をなすりつけていた。壁色に塗ろうと思ひしかも裸婦を嫌悪しながら。（デッサン室）

彼は閉めきった部屋にはいたたまれなかったのだ。あたたかい陽の落ちてくる老樹にいた。けれど空気はどんよりとして流れてはいなかった。それにしても、ひとかけらの青空がほしいねえ。みどりの葉がちっともそよがなければ、おまけに、赤とんぼもいないのだ。（樹と空）彼はほんとうに息もつまりそうなちいさな檻の中を、つつもうろついていなければならなかった。けれど檻に青空のあるはずはない。檻とは四方が壁と鉄格子で囲まれた、しかも重い天井のあるものなのだ。（芸大）

走ってきた幼な児とメンコをする。当然のことながら彼が強かったもので、彼は容赦なくすべてをまきあげてしまった。そのとき、彼は幼な児の瞳に遠いみどりの国の青空をみていた。（ふるさと）

いつ死んでも完全といえる生活をするつもりだった。しかし烈しさにあこがれながらも、彼は怠惰に生きていた。だから死ぬがよいとは考えたけれど、もう死んでみる気力さえも残ってはいなかったのだ。（倦怠）

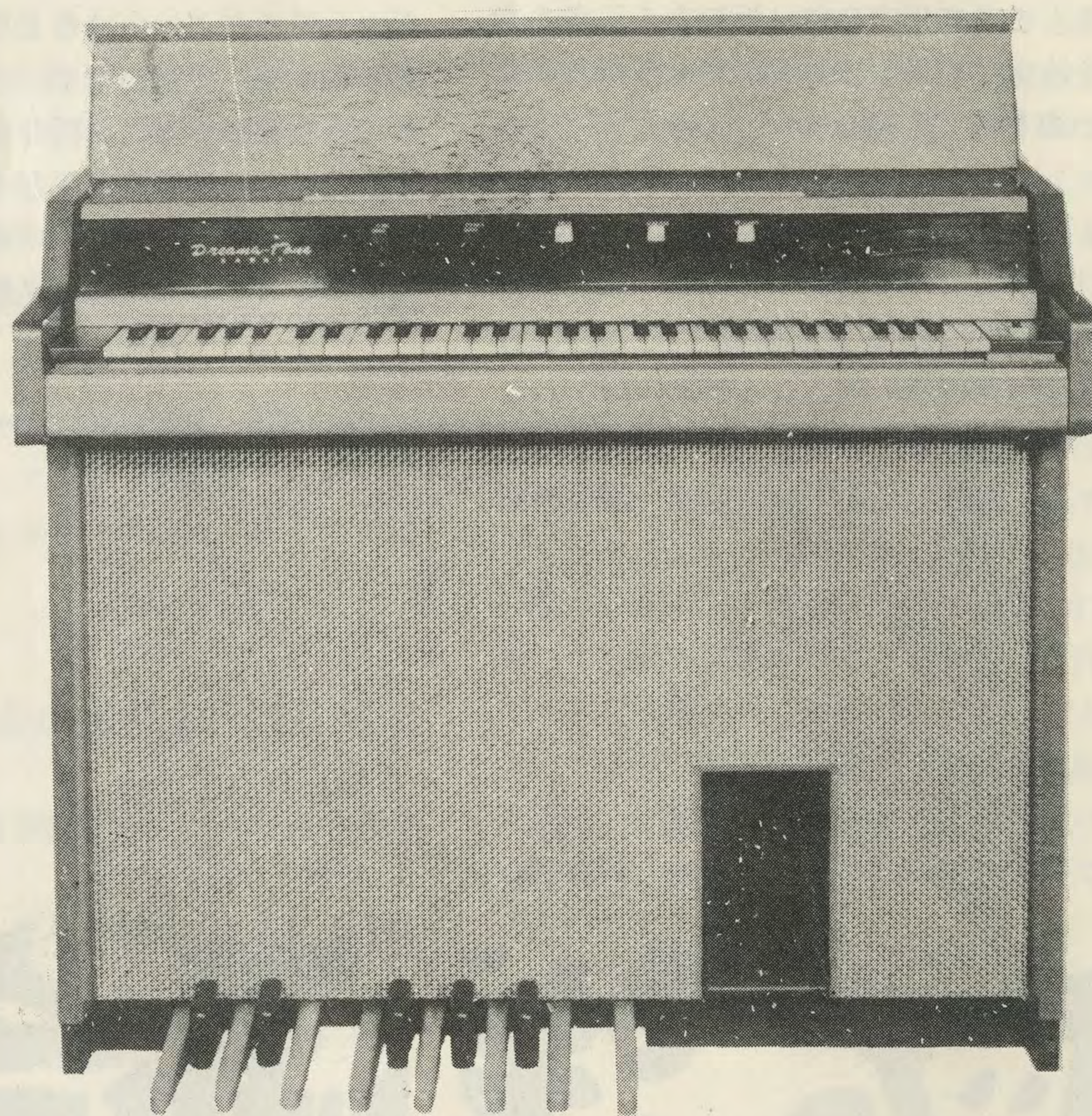
もっとも敏感でなければならなかったのだ。けれど彼はすべてのものに純粋なおどろきを感じないか、もしくはすべてのものがたまらないほど美しくみえる — そんな鈍感に育っていた。私は単細胞でありたい。（希望）

大バーはた洋画会

豊島区池袋3 1425 TEL(971)6667


 バラエティに富んだ美しい音色を自由奔放
 に変化させて、お好きな音を創り出す喜び、
 一人でフル編成のように演奏できる楽しさ……

カワイドリマトーン



ES-4

現金正価89,000円 椅子2,500円

ライト・オーク、オープンポラス仕上

間口1006mm / 奥行510mm / 高さ895mm / 重量47kg

- 鍵盤
手鍵盤…61鍵1段・C～C
足鍵盤…13鍵・C～C
- トーン・レバー……DIAPASON, FLUTE, REED
- エフェクトレバー……VIBRATO (深さ調節付)
- 音量バランス・レバー……PEDAL (ペダル音量調節)
- その他
エキスプレッション・ペダル, イヤホン・ジャック
外部アンプ用出力ジャック, A.C コンセント
電源スイッチ, パイロットランプ
- 使用トランジスタ……108コ
- 使用発振用トランス……68コ
- 使用スピーカー……20cm 1コ (特殊設計)
- メインアンプ……2SB250A P.P. (O.T.L.)
- 電源……100V (50～60 ϕ)
- 消費電力……12W

その他■カワイドリマトーン3器種

- ET-5 現金正価 196,000円
- ES-7 現金正価 415,000円
- ET-7 現金正価 475,000円



株式会社 河合楽器製作所

本社■浜松市寺島町200・電(54)2131

1
thu.

陳列館階上 染織資料展
陳列館階下 中国・朝鮮・日本の彫刻工芸
正木記念館階下 近代日本の彫刻

奉楽堂プログラム詳細は
16ページを御覧ください。

奏楽堂

□=整理券を発行します。

| 9:00-10:00 | 朝のコンサート

ピアノ五重奏=ベートーベン

弦楽四重奏曲 O P. 18-1 =ベートーベン

| 10:00-2:30 | 古典音楽演奏会

バロックコンサート=テレマリ

コニツェルト ヘ短調=テレマン

オルガンコンツェルト=ヘンデル

ブランデンブルグコンツェルト第4番=バッハ

ブランデンブルグコンツェルト第5番=バッハ

| 2:30-6:00 | 協奏曲演奏会□

ヴァイオリンコンツェルト第1番ニ長調=パガニーニ

ヴァイオリンとオーボエのためのコンツェルト=バッハ

ピアノコンツェルト O P. 21 ヘ短調=ショパン

ヴァイオリン・ビオラコンツェルト=モーツアルト

二重協奏曲 KV 365=モーツアルト

展示

| 10:5:00 |

油画科 本館2階・C112教室・D110・203教室

日本画科 本館2階

彫刻科 C124教室・本館1館

工芸科 新館1・2・4階

建築科 新館3階

芸術学科 A135教室

壁画展

C209教室・C153教室

版画展

A207教室

写真部展

新館4階

自治会

パネルディスカッション

野外ステージ

| 3:00-5:00 | アトラクション

| 5:30-6:30 | ブラスバンド

| 6:30-7:30 | 映画「日生劇場・ドイツオペラ」

音楽部新館合唱ホール

講演

| 1:00-4:00 | 柳田謙十郎「新しい人間像」

音楽学部新館1階ロビー

サロン

| 11:00-3:00 | テーマ「美術学部と音楽学部との相互理解」

9/30

| 5:30-8:30 | 音楽学部新館1館ロビー
前日祭ダンスパーティー

2

fri.

1

奏楽堂

| 9:00-10:00 | 朝のコンサート

ピアノ三重奏ニ短調OP. 49=メンデルスゾーン
木管四重奏曲第4番=ロッシーニ

| 10:00-12:30 | 作品発表

Improvisation for piano =八村義夫
声楽 立原道造の詩による夏花の歌=菅野光亮
ヴァイオリオンとピアノの為のソナタ=池辺晋一郎
声楽 三つの歌: 金井直詩集「飢渴より」=平義久
ヴァイオリオンとピアノの為の5つのバカレレ=北条直彦
ヴァイオリオンとピアノの為のコントラクトII朴賢治
ヴァイオリオンと7つの弦楽器の為の協奏曲OP. 16
二台のピアノと打楽器のための音楽=三好明雄

| 1:00-6:00 | 邦楽鑑賞会 □

観世流舞囃子・賀茂
宝生流舞囃子 小督・高砂
長唄合奏・夜遊楽・娘道成寺
生田流箏曲合奏 五段砧 唐砧 道灌
山田流箏曲合奏 松風 隅田の流れ ひぐらし

2・3日各クラス毎に批評会を行います。

展示

| 10:00-5:00 | 1日参照

野外ステージ

| 1:00-4:00 | アトラクション

| 5:00-6:40 | コーラス ミュージカルヒットパレード | 6:30-7:30 | フォークダンスと五輪音頭

音楽部新館1階合唱ホール

講演

| 10:00-12:00 | 映画会

| 1:00-4:00 | 講演「現代におけるヒューマニズムからみた人間の問題」

音楽学部

16室

| 1:00 | 講演 諸井 誠「現代音楽とその周辺」

サロン

| 11:00-3:00 | テーマ「学生の演奏・創作態度について」

3

sat.

奏楽堂

19:00-10:00 | 朝のコンサート

弦楽四重奏曲＝シュ ベルト
ピアノ五重奏曲＝モーツアルト

10:00-1:30 | 室内楽

三重奏 トリオ・ソナタ＝J S バッハ
ヴァイオリンとピアノの為の二重奏曲ト長調＝モーツアルト
四重奏 フルート四重奏曲ト長調＝モーツアルト
管楽八重奏＝ベートーベン
ピアノ三重奏＝ 第一番ニ短調＝メンデルスゾーン
三重奏 ホルントリオOP 40＝ブラームス
P Fl. Cl Mr. Fg の為の五重奏曲＝リムスキー コルサルク
ハーブ七重奏曲 序奏とアレグロ＝ラベル

1:30-6:00 | 現代音楽への道

講演解説 柴田南雄・ピアノ協奏曲＝
ラベル・管楽八重奏曲＝ストラヴィンスキー
六つのハンガリー民謡＝バルトーク・エカーグラ＝
福島和夫・二つのヴァイオリンの為のソナタ＝
プロコフィフ・夢の歌＝ノーノ・チクルス＝
シュトックハウゼン・ピアノソナタ＝ベルク・
プリペア ドピアノと弦楽の為の小品＝黛敏郎
パッサカリア・不確定性派

展示

10:00-5:00 | 1日参照

野外ステージ

1:00-4:00 | アトラクション

15:30-6:30 | 軽音楽パレード

6:30-7:30 | ダンスパーティー

講演

11:00-4:00 | 講演「ジャコメティ の人と作品について」 矢内原伊作

16室

11:00 | 講演 福田恒存「現代芸術の課題」

サロン

11:00-3:00 | テマ「学生のおかれている状態」

4 sun.

四美大交流会

| 9 : 00 - 12 : 00 | 各科別・テーマ別討論会
油絵・日本画〈第2講議室〉 彫刻〈第3講議室〉 美学連〈第4講議室〉
クラブ・サークル〈第5講議室〉 テーマ別〈第6講議室〉 デザイン〈第9講議室〉
| 1 : 00 - 4 : 00 | 講演〈音楽学部合唱ホール〉
| 4 : 30 - 6 : 00 | 全体会議〈第7講議室〉
| 6 : 00 - 8 : 00 | ダンスパーティー

奏楽堂

| 9 : 00 - 10 : 00 | 朝のコンサート
| 10 : 00 - 2 : 00 | 室内楽演奏

| 2 : 00 - 3 : 00 | マリンバフェスティバル

| 3 : 00 - 5 : 00 | 合唱とオラトリオ
| 5 : 00 - 6 : 00 | ブラスバンド

展示

| 10 : 00 - 5 : 00 | 1日を参照

野外ステージ

| 1 : 30 - 2 : 30 | 空手演技

| 4 : 30 - 5 : 30 | 氷による即興彫刻

| 6 : 00 - 7 : 30 | 後日祭カーニバル

ギリシア悲劇上演とその背後にあるもの

上演＝エレクトラ／エウリピテデス作
出演＝音楽学部楽理科（及び他の演奏科）
美術＝美術学部舞台美術研究会
協力参画＝東京大学ギリシア悲劇研究会
早稲田大学演劇部

10月4日〈1 : 00 P M.〉 音楽学部16室

この度の上演は、唯単にギリシア悲劇の上演という純粹に演劇の側からの追求に止まることなく、私たちはそこで舞台の上にあるものとそれを享受する側との新しい接点を見出すべく努力しました。ということは、つまり最近の1世紀における音楽、演劇、美術その他小説に至るまでの諸芸術の分野においての時々刻々新たに創り出されていくものと、それが演ぜられる場と、それを受けとる側との混迷が、ここで指摘されるべきでありましょう。特にここで、音楽をその側として採れば、作曲家は演奏家に半世紀先立ち、更に聴衆とは一世紀の隔りを持つという現状が考えられねばなりません。これは、新たに創られる創造物が芸術の本来の姿であるところの、共同体の姿から逸脱し、作曲家の頭の中にのみ先走り、共

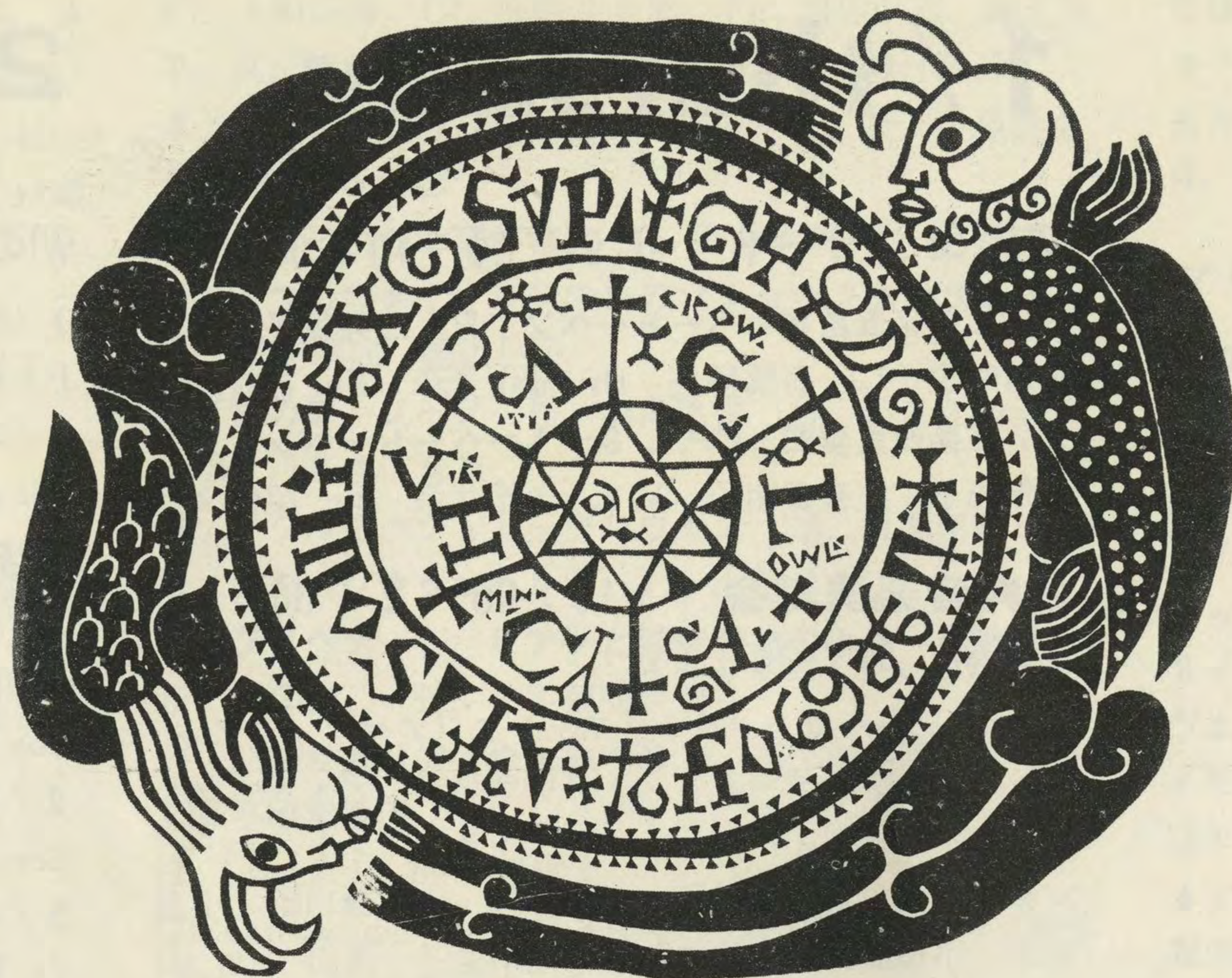
同体の一員であるところの聴衆を一世紀ものかなたに置きざりにしているということにほかなりません。しかし、芸術の創造というものが過去の遺物の徹底的な破壊から生ずるという芸術創造においての真理があるとすれば、作曲家の一世紀もの先走りも又、肯定されねばならぬことでしょう。だとすれば、この一世紀もの落差を継ぎとめる接点といえは、それらの創造物の発見される現在の場合に必要なのではないのでしょうか。このことは、音楽に限らず、美術でも演劇でも同じようにいわれていることなのです。私たちのギリシア悲劇の上演は、ギリシア悲劇がその当初に持っていた、カタルシスを背景とした共同体的な場の在り方を象徴的に採り上げてみる事でもあるのです。

講演

| 1 : 00 - 4 : 00 | タカクラ・テル「日本民族の歴史の特質とその地位、また文化との関係とその任務」

サロン

| 11 : 00 - 3 : 00 | テーマ「学生の自主的活動について」



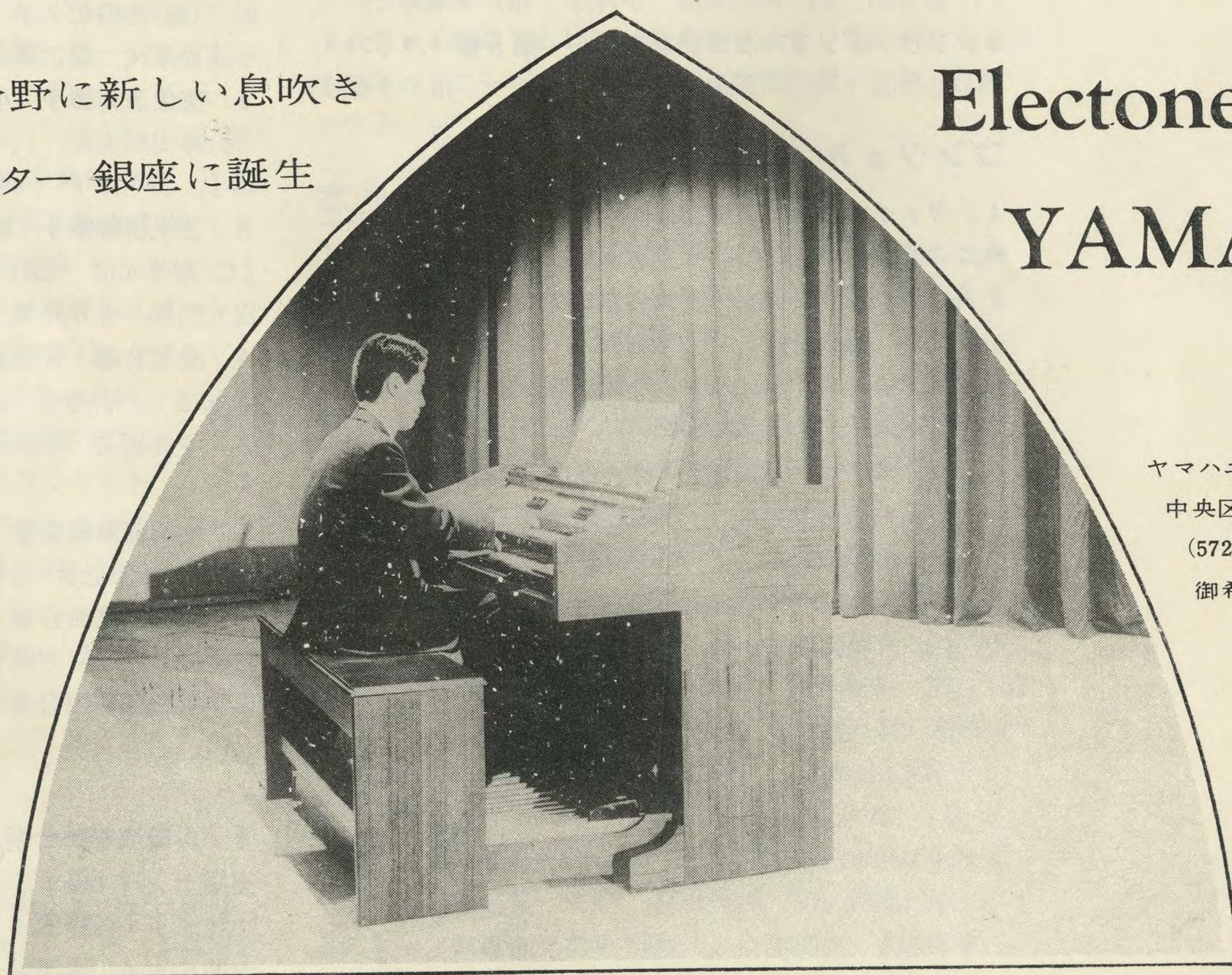
9月1日 ヤマハに世界ではじめての「エレクトーンセンター」ができました 場所は日本楽器銀座店の3階 エレクトーン全機種40数台を備えた9つの専門教室と 内外の資料・楽譜・テキストを集めたライブラリーを設け エレク

トーンの普及・発展をはかる様々の事業を行います 教室活動は 楽界最高の講師陣のもとに 初心者のための入門コースや専門的な研究コースを設立し エレクトーン愛好家・演奏家・指導者の育成に当ります さらにエレクトーンコ

ンクールの実施や エレクトーンコンサートの企画・援助など 市広い活動を行います エレクトーンセンターでは 多くの方々のご利用と積極的な参加をお待ちしています

音楽の分野に新しい息吹き
エレクトーン総合センター 銀座に誕生

Electone Center
YAMAHA



ヤマハエレクトーンセンター

中央区銀座7-1 日本楽器銀座店3階

(572) 3111

御希望の方には詳しい案内リフレットをお送りします。

1 / thursday

朝のコンサート サ 9:00—10:00

- 1 / ピアノ五重奏=ベートーベン P 三井民子 Ob
熊田明宏 Cl 石橋耕二 Hr 楠山光彦 Fg. 吉村京夫
2 / 弦楽四重奏曲 OP L 8-1=ベートーベン VI
斉藤節子 左奈田明子 Vla. 久松共栄 Vc 脇俊文

古典音楽演奏会 10:00—2:30

- 1 / バロック・コンサート
(1)リコダ・コンソート/ファンタジア=ウィリアム
バド ラクリメ=ジョン・ダウランド ディス'ペラ
ビ=マイケル・イースト メナテルラ=アントーオ・ベ
ルターリ S 植田義子 I口千枝 A 樋口昭 小島
福次 小泉浩 河野和雄 T 荒川恒子 古 I B 山
本一弘 有本功 佐野
(2)二重奏・ニ短調=テレマン A 山本一弘 小島福次
(3)組曲=デルヴェロワ S 植田義子
(4)四重奏曲・ニ短調=テレマン Re. 小島福次 Fl 小
泉浩 齊藤賀雄 Cem. 河野和雄
(5)カンタータ 208番“我が楽しみは狩のみ”より=バッ
ハ S. I口千枝 Re 荒川恒子 山本一弘
(6)カンタータ“省みよ誇れる者よ”より=テ レマン
S 川口千枝 Re 荒川恒子 Cem. 河野和雄
2 / コンツェルト・ヘ短調=テレマン Ob 桑島裕直
Cem. 石丸泉
3 / オルガンコンツェルト・ト短調・ヘ長調=ヘンデル
Og 榎本栄子
4 / ブランデンブルグコンツェルト 第4番=バッハ
VI 長井明 Fl 湯川和雄 小林茂 指 手塚幸紀
5 / ブランデンブルグコンツェルト 第5番=バッハ
Fl. 金昌国 VI 岡田英治 Pf 音川紘一 指 手塚幸紀

コンツェルト 2:30—6:00

- 1 / ヴァイオリンコンツェルト 第1番ニ長調=パガニ
ーニ VI 小林久子 指 手塚幸紀
2 / ヴァイオリンとオーボエのためのコンツェルト=バ
ッハ Ob. 桑島裕直 VI. 毛利祐子 指 手塚幸紀
3 / ピアノ コンツェルト ヘ短調Op 21=ショパン
P. 遠藤郁子 指 手塚幸紀
4 / ヴァイオリン・ビオラとオーケストラのためのコン
ツェルト=モーツァルト VI 一宮悠子 Vla. 藤本彩
子 指. 手塚幸紀
5 / 二重協奏曲 Kv 365=モーツァルト PI 中柳睦
子 PII 齊藤真佐子 指 白柳昇二

2 / friday

朝のコンサート 9:00—10:00

- 1 / ピアノ三重奏 ニ短調 OP 49=メンデルスゾーン
P 村井悠紀子 VI 首藤邦子 Vc 正木捷子
2 / 木管四重奏 第4番=ロッシーニ Fl 小泉浩
Cl 泉浩 Hr 新田厚 Fg. 山田秀男

作品発表

- 1 / (1)ピアノ独奏 Improvisation for piano 高橋アキ
(2)室内コンチェルト Fl 宮原千賀子 VI 梅沢美保子
Sop. 遠藤裕子 Pi 西勇士
2 / 声楽 立原道造の詩による夏花の歌 管野光亮
Sop. 大山陽子 P 河田稔子
3 / ヴィオリンとピアノの為のソナタ 池辺晋一郎
Vs. 驚見康郎 P 高橋アキ I
4 / 声楽三つ声 金井直詩集“飢渴”より 平義久
Sop. 露生悦代 Pf 木口聡子
5 / ヴィオリンとピアノの為の5つのバガテレ 北条直彦
VI 玉木宏樹 P 北条直彦
6 / ヴィオリンとピアノのためのコントラプンクトII
VI 長井明 P 朴賢治
7 / 独奏ヴァイオリンと7つの弦楽器の為の協奏曲
OP.16 木村雅信 指揮玉木宏樹 Solo. VI 渡辺香
8 / 2台のピアノと打楽器のための音楽 三好明雄
PI. 長尾敬子 PII 太田裕子 Per 木村和彦・佐々木達夫
村瀬弘行

邦楽鑑賞会 1:00—6:00

- 1 / 観世流舞囃子 賀茂 服部美枝子 小川博久 (大)
安福春雄 (太)観世元信 (小)一須錦吾 (留)藤田朝太
郎 (地)佐伯紀久子 坂真次郎 平野邦子 二輪修太郎
小室加津代 鶴沢郁雄
2 / 室生流舞囃子 小督 村瀬澄子 (大)安福春雄
(留)藤田朝太郎 (小)二須錦吾 (地)徳川和子 榎本千
鶴子 高尾裕子 内田芳子
3 / 室生流舞囃子 高砂 衣斐正宜 (大)安福春雄
(太)観世元信 (小)二須錦吾 (留)藤田朝太郎 (地)塚
田光田郎 寺井良雄 水上輝和
4 / 長歌合奏 夜遊楽 (唄)赤木正明 (二味線本手)
大塚睦子 橘利明 (替手)伊勢弥生 牟田口照国 (高
音)中島雄司 青柳和彦 (低音)藤原昭夫 (留)向山英
一郎
5 / 生田流箏曲合奏 五段砧 (箏高音)安藤裕理子 柏
崎洋子 (箏低音)広木房枝 山田澄子
6 / 山田流箏曲合奏 松風 (唄)福田章子 各和二木子
一室陽子 (箏)大高テル子 西潟昭子 (湯玄)鳥居和子
7 / 生田流箏曲合奏 唐砧 (箏)折田裕子 脇節子
(低音)石井久美子 北沢依子 小林陽子 (三弦)砂崎知
子
8 / 山田流箏曲合奏 隅田の流れ (唄)各和ミホ子 一
室陽子 唐津優子 一沢多恵子 佐藤洋子 (箏)本手秋
山智恵子 佐藤陽子 前島由利子 塩原千恵子 (替手)
大高テル子 西潟昭子 (三弦)鳥居和子 福田章子

9 / 長唄合奏 娘道成寺 (唄)細田瑞枝 井上朋子 井上久美子 桶作桂子 佐々木淑子 佐藤ゆみ (三味線) 越野美智子 片野とも子 福島章子 越野美恵子 石川佳余子 森勝 (囃子) (留)向山英一郎 横山政司 杉浦教官 若林 教官 (他)副科学生

10 / 山田流箏合奏 ひぐらし (箏本手)塩原千恵子 一沢多恵子 唐津優子 (第一替手)宮下伸 秋山智恵子 (第二替) 前島由利子 佐藤陽子 (三弦)鳥居和子

11 / 生田流箏曲合奏 道灌 (箏独奏部) 脇節子 (高音)石井久美子 安藤裕理子 柏崎 洋子 佐藤俊子 森千恵子 元花園子 (低音)広木房枝 山田澄子 小野梢 伊藤順子 中谷勝子 (三弦)打田裕子 砂崎知子 菊地美紀子

3 / saturday

朝のコンサート 9 : 00 ~ 10 : 00

1 | 弦楽四重奏=シューベルト VI 阿部朝 VI 浅野和子 VI 鈴木修 Vc 佐藤百子 a

2 | ピアノ五重奏曲=モーツアルト P. 大野みつ Ob.熊田明宏 Cl 鈴木良昭 Hr 境野建彦 Fg.山田秀男

室内楽 10 : ~ 1 : 30

1 | 三重奏=トリオ・ソナタ=J.S. バッハ Fl 宮原千賀子 VI 和田潤子 P 木口聡子

2 | 二重奏 ヴァイオリンとビオラの為の二重奏曲ト長調=モーツアルト VI 五十嵐洋子 Vlc 山口正子

3 | 四重奏 フルート四重奏 イ長調=モーツアルト Fl.持田ヒカル VI 山室桂子 Vla.井手修三 VI.正木捷子

4 | 管楽八重奏=ベートーベン Ob. I 熊田明宏 II 浜直晃 Fg I 山田季男 II 吉村京夫 Cl I 鈴木良昭 II 石橋耕一 Hr I 山元俊雄 II 楠山光彦

5 | ピアノ三重奏 第1番二長調=メンデルスゾーン P.佐々木弥栄子 VI.森孝子 Vc.高木雄司

6 | 三重奏 ホルントリオ Op 40=ブラームス Hr 境野建彦 VI 田野辺はるみ P 江部谷子

7 | 五重奏 ピアノ・フルート・クラリネット・ホルン ファゴットの為の五重奏曲=リムスキー・コルサコフ R.若松啓子 Fl.大和田皓 Cl.海鋒正毅 Hr.深沢幸 Fg.前田信吉

8 | ハープ七重奏曲 序奏とアレグロ=ラベル Hp.宮島久美子 Fl 湯川和雄 Cl.須藤清子 VI 長井明 Vla.川合優子 Vc片岡正義

現代音楽への道

1 / 講演 解説 柴田南雄

2 / ピアノ協奏曲=ラベル P 中野公子 指、白柳昇一

3 / 管楽八重奏曲=ストラヴィンスキー 指 手塚幸紀

Fl 大和田浩 Cl. 佐藤功太郎 Fg 前田信吉 森正彦 Tp. 高田俊治 光信利彦 Tb. 田中康之 磯村寿彦

4 / 6つのハンガリー民謡=バルトーク 指、中島恒雄 合唱声楽1年有志

5 / エカークラ=福島和夫 Fl 斉藤賀雄 Pf. 高橋アキ 6 / 2つのヴァイオリンの為のソナタ=プロコフェフ VI 鷺見康郎 湯沢昌子

7 / 愛の歌=ノーノ 指 中島恒雄 Hp. 宮島久美子 合唱 声楽4年有志

8 / チクルス=シュトックハウゼン 指 百瀬和紀

9 / ピアノソナタ=ベルク Pf 高橋アキ

10 / プリペアード ピアノと弦楽の為の小品=黛敏郎 指 白柳昇一 弦 1年弦楽合奏

11 / パッサカリア=ウェーベルン 指 中島恒雄

12 / 不確定性派

(1)Cosmos 10.3=水野修考

(2)Environment to J. Macinnas and N.J Paik=一柳慧

(3)Anima 7=小杉武次

(4)Fall music=武田明倫

(5)Card Piece=George Brecht

(6)Aurola=武満徹

(7)To ne work=刀根康尚

4 / sunday

朝のコンサート 9 : 00 ~ 10 : 00

1 / フルート三重奏=クーラウ Fl I 小泉浩 II 潮田芙左 III 斉藤賀雄

2 / ヴァイオリンとピアノの為のソナタ Op 47 クロク イツェル ニーベーターベン Tl 桑折佐紀子 P 岩崎セツ子

室内楽 10 : 00 ~ 2 : 00

1 / 三重奏=フルート、ファブラトと通低音の為のソナタ イ短調=ビバルディ Fl 甲斐道雄 Fg. 森正彦 Cem.大場俊一

2 / ピアノ三重奏口長調 Op 8=ブラームス P 市田阿弥子 VI 小林久子 Vc 片岡正義

3 / 三重奏セレナーデ=ベートーベン Fl 小笠克子 VI 高田稔子 Vla II 合優子

4 / 木管五重奏 ホ短調 Op 67の2=ダンツィ Fl 金昌国 Ob. 坂宏之 Cl 森田利明 Hr 宮田四郎 Fg. 津田雄三

5 / 弦楽四重奏 「わが生涯」より=スメタナ VI I. 玉木宏樹 VI II 田野辺はるみ Vla 鈴木修 Vc 脇俊文

6 / オーボエ四重奏曲=モーツアルト Ob. 山本洋一 VI 大河内弘 Vla II 合優子 Vc 多久俊

7 / ピアノ三重奏 Op 90 「ドウムキー」=ドヴォルザーク P 音川紘 VI 岡田英次 Vc 野瀬正彦

8 / ホルン四重奏=ボザ Hr I 今井清治 II 深沢幸一

III 藤田史郎 IV 宮田四郎

9 / 七重奏 変ホ長調 Op. 20=ベートーベン VI 長井明 VI a 小林久子 Cl 須藤清子 Fg 津田雄二 Hr 今井清治 Vc. 佐藤桃子 Kb 牧野誠 郎

マリンバフェスティバル 2 : 00 ~ 3 : 00

合唱とオラトリオ 3 : 00 ~ 5 : 00

1 / 合唱 イタリア奇想曲=チャイコフスキー その他 3 声楽科一年

2 / 合唱 葬送オラトリオ Op 7=ハインリッヒ シコッツ 指揮遠藤雅古 楽理科一・二年 声楽科有志

3 / 宗教音楽 アヴェマリア=パレストリーナ アヴェヴェルム ユルプス=モーツアルト オードミネ オデイエコンプレティサント 指揮中島恒雄 宗教音楽合唱団 コル チェチリア

4 / 四重唱 山に祈る=清水修作詩、作曲 堀部隆一 塚田佳夫 湯浅富士郎 藤本耕治 P 堀祥子 (語り手) 中島千咲

ブラスバンド

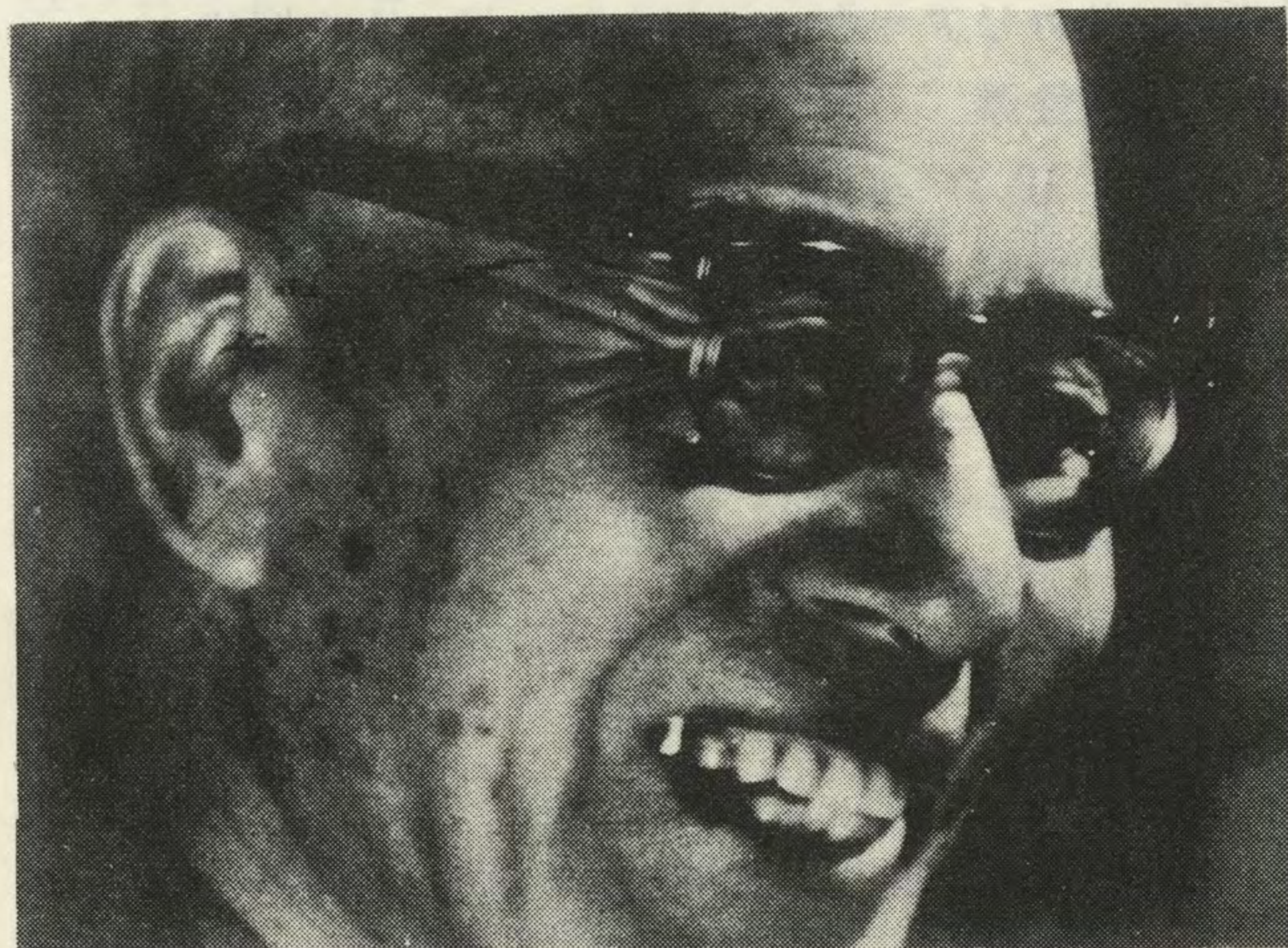
第一部 序曲=メンデルスゾーン 仮面舞踏会=ハチャトウリャン

第二部 ブロックM ブル タンゴ ラッパ吹きの休日 タンブ パリの空の下 オバザレイボ 指揮 山本正人

日本民族の歴史の特質とその地位、また文化との関係とその任務タカラ・テル

「箱根用水」「狼」「大原幽学」など多数の作品を出している文学者でもあり、言語学者でもある。

若い頃哲学者になるつもりで京都の一高に入ったが、カント・ヘーゲルなどの哲学では、なにも解決されず、ロシアのトルストイ、プシキンの作品にひかれ、自分でも作品を書く決意をし、河上肇から人生の問題を階級的観点からはっきり解決する道を示されて以後、京都大の蟻託をやめて長野県の農村に移り住み「自由大学」と



云うものを作って労働者、農民を教育する仕事に従事し、10年間労働者、農民と一緒に生活し、一緒に貧乏し、一緒に生活の権利と平和のために闘い、一緒に牢獄の生活を送り、日本の民族芸能を守り育て普及している“わらび座”の育ての親でもある。

現在、民族芸能を守る会々長、東京アジア・アフリカ連帯委員長などの役員をしながら小説を書いている。

ジャコメティーの人と作品について

矢内原伊作

氏の専門は哲学であるが、その著書“抵抗詩人アラゴン”などによって知られているように広く文芸活動を行っている。また美術にも造詣が深く、ペリュショ「セザンヌ」J・モジリアー「モジリアー」F・クレ「クレ」などの美術関係の訳書も多くある。

さらに氏は20世紀のもっとも偉大な彫刻家の一人であるジャコメティーのモデルとして毎夏パリへ飛び、そこでジャコメティーと親しく会話を交されている。広範な教養の持主である氏よりジャコメティーの人と作品と生活について親しく聞けることは、我々の今後の創作活動にとって大きな収穫となることと思う。

なお、氏は京都在任であるところを本芸術祭のために特に上京し、講演して下さる事をここに書きそえておきます。

現在 大阪大学文学部助教授

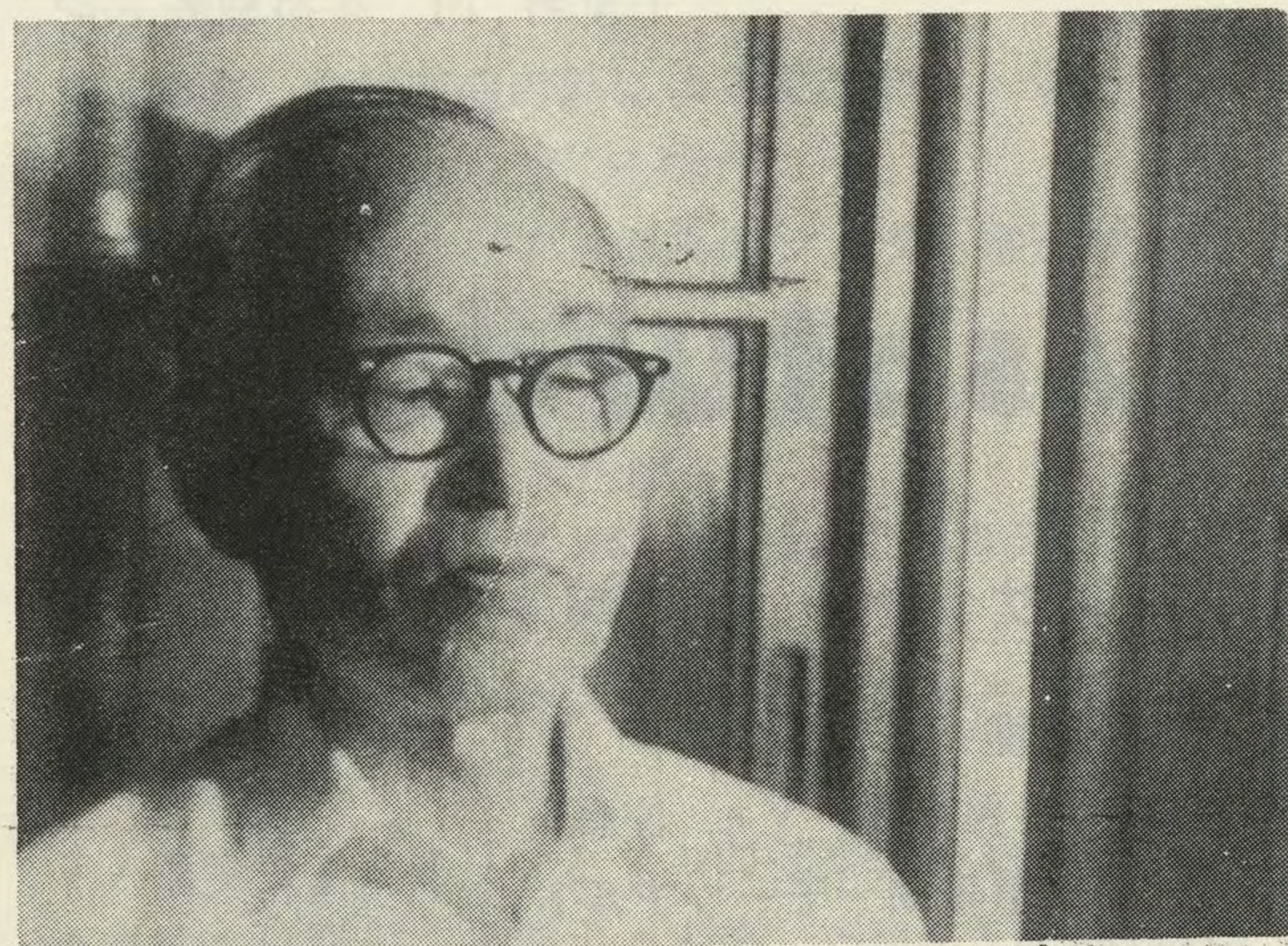
著書 前述の他に「海について」

「顔について、若き女性への手紙」

現代におけるヒューマニズムからみた人間の問題

務台理作

文学博士、京都大学哲学科を出、東京文理大学々長、教育大学教授を歴任し、今年の3月慶応大学文学教授を最後に教職から身を引き現在は研究一途の生活をしている。氏はながくヒューマニズムということを追求め、歴史においてどんな断層があろうとも、また大きな変革においても結局、人間は前の時代の脈々たる本の途を受けついでいる。また受けつぐべきものをみつめなければならないと言ひ、氏はそれこそヒューマニズムであると主張する。今度の講演会では社会主義が台頭したあとの人間の問題がどうなったかという事と現代のヒューマニ



ニズムは人間の問題をどうみるかということを中心に話がすすめられる。

著書 「人間と倫理」 (大明堂)
「現代の倫理思想の研究」 (未来社)
「現代のヒューマニズム」 (岩波)
「哲学概論」 (岩波)

新しい人間像

柳田謙十郎

哲学博士として台北帝大、大谷大学、同志社大学、竜谷大学、高野山大学等で教授を歴任。

名誉や地位を常にさけ、あらゆる西洋の観念哲学を学びつくし、ついに日本人の観念哲学西田哲学に人間の道を求めるが、第二次世界大戦中、人息子を殺され、戦争反対に立ちあがらず逃避的になった西田哲学者の思想に疑問を感じ始め、戦争と搾取から人類を解放する道は唯物論哲学以外にしかない事を知り、世間の反対と中傷を押し切って56才にして唯物論哲学に転身以後国家権力のはげしい弾圧の中を平和と真実の道を歩きとおしている。

著書、「歴史と人間」「わが思想の遍歴」
「健く者の未来」「闘いのモラル」
「観念論と唯物論」など

現在、労働者教育協会々長

日本平和委員会副会長

サロンに集まれ！

〈場所〉 音楽学部新館一階ロビー

〈時間〉 毎日11時～3時

サロンは、芸大生の気軽な休憩室であり、たまり場である。芸術家の埃と喧噪を離れて、ひと時、初めての友と親しく語り合うのも、愉快的ことではないか？サロンは何かを「学ぶ」ところではない。けれども結果としてやっぱり何かしら学ぶことになるだろう。とりとめのないおしゃべりではなく、もっと脳ミソの栄養になる話題

で、気軽な中にも真面目に話し合う場所である。（そこがキャッスルや大浦食堂と違うところだ！）

又……、お祭りの華やいだ雰囲気の中にこそ、何故かフト、淋しさやむなしさがしのび寄る。そんな時もサロンへ行こう。そこにはきっと、心のどこかに同じような憂鬱をかかえた友がいて、悩みは自分だけのものではないことがわかるだろう。似ているようで違い、違っているようで似ているのが、人間ではないだろうか？

サロンはそんな静かな語らいの為にも、感じの良いスペースを確保してある。

サロンは毎日違ったテーマをにかけている。これら

のテーマは、前もって芸大のあちこちから寄せられた素朴な疑問や意見（掲示板参照）をまとめたものであるが、話題は必ずしもこれに限定されるものではない。サロンはもっと自由な場所であることは、上に述べた通りである。どうか思う存分利用していただきたい。普段接触の少ない音校生と美校生、或いはよその科の友に、理解と信頼を寄せ合う「サロン仲間」が出来ればそれは又嬉しいことではないか！

最後にお願いが一つ……、サロンへ来る人は皆友達なのです。どうぞ仲良くして下さい。そしてどうぞ、貴方から先にお話しかけ下さい！では又当日に——（M）

若い人むきのやわらかい味！

ニッカ・エキストラ …… 340円



ニッカ
ウ井スキー

白角
ハイニッカ
500円

ニッカウ井スキー株式会社

猛きものの心の心をも

なぐさめるは人形劇なり

時 現在

所 東京芸術大学のある一隅

舞台 二坪の部屋に男女あわせて16人ほどトンカチ、筆、針、布などもち何やらモソモソやっている。中央にゴザがしいてある。天井から80Wの電球一つ、もちろんそう然としている。

1：（さきほどから熱心に歌っている）鉄砲に衣かざり—兵隊さん戦争に行くはたちの恋を胸に一足並そろえてゆく—名誉のつえを入れてかつぐ袋の中は、かえってくるその時にゃ—よごれたシャツばかり、いざ一命かけて戦争へ、戦争へ、かわいそうなやつさ恋も—

5：わかった、わかったよ。

7：おい、美術の方遅れてんだろ、早くやれよ。

1：あー、いけねえーやっちゃった。こぼしちゃったよ。

9：ひゃー、あーどいたどいた、そこの足邪魔だよ。

雑布早く。

—窓をあけると音校校舎からパイプオルガンのメロディーが流れてくる—

1：でも何で俺達人形劇なんかやるんだろな。

5：おもしれーからだろ。

1：………そうだよ…な………。？（考えこむ）

8：愚生に一言いわせてもらえば、そもそも人形劇ってやつはだな、詩だよ。演劇と詩の融合なんだ、言葉を変えれば絵画、詩、音楽の総和ってとこかな、そこに我々は、新しい芸術のジャンルとして可能をみつけるわけだよ、魅力はそこじゃないのが………をからもう肉体を床にしばりつけた従来のいわゆる演劇は俺にいわせりゃ古いと思うよ

10：8番さんにその詩心あるかしら。

15：（ひとりごと）愛の絶対は犠牲である。人形劇の絶対もこれ又犠牲である………。

1→16：ゲラゲラ、クスクス、ヘッヘッヘ………。

10：キャー、ケムシ、そこそこ15番さんの頭。

7：おいみんな、動きをよく観察、観察。

8：殺しちゃえ、殺しちゃえ。

—部屋の中すこしの間静まる。部屋わきの大通りからトラックの猛スピードで走る音—

8：人形劇のリアリズムはそれが現実、日常性と全く異った手法で創造される事によって逆に一層生々しい現実感を与えるんじゃないかな……例えばここに一つのコップがある。

5：（8の言葉をかぶせるように声を意識的に高めて）芸術家たるものの最高の不幸は理論が実作を追いこす時である。オッホン。

2・5・10：キビシ ねー。

11：はらへった。

13：ほんとね、今何時かしら。

5：7時ちょっとすぎ。

1：そろそろ帰ろうか。

—ゴソゴソ、ガチャ、ボタン、ドヤドヤ—

5：おい、窓ぴったりしめとけ、もっとも閉めたって無駄だけどね。何しろポテトから照明までそろってんだからね。

1：ふうふうは様式主義だな、でも2年でこれだけそろえちゃったからな——。

15：ちょっと見て、きれいな星が……近頃スモッグおさまったのかしら。

5：古代ギリシャ人の眼にうつった星と現代科学者の眼。というより望遠鏡にうつった星のイメージの比較、考えた事あるかい。

1：人間の星、星の人間、人間の時間、時間の人間、関係あるかな。

11：おい、そんなことより課題やったか。

5：話を現実に戻すね、この人、それよりまず人形劇、全般に遅れてるよ、早く天命にまかせるとこまで行くべしよなっ、それからカンパイだよ、な—皆んな。

1→16（5以外の）：ごちそうさま、悪いねいつも。

5：またまた、おい走ろうか、門まで走れー。

幕 空、コバルトに高く、星がチカチカ、氷砂糖の上を通過してきたような甘くそしてちょっぴりつめたい月が二坪の小屋の窓から、しのびこんだ様だ。16人走り去ったあとに守衛さんがその中を懐中電灯でしきりに照らしていた。

阿佐ヶ谷美術学園

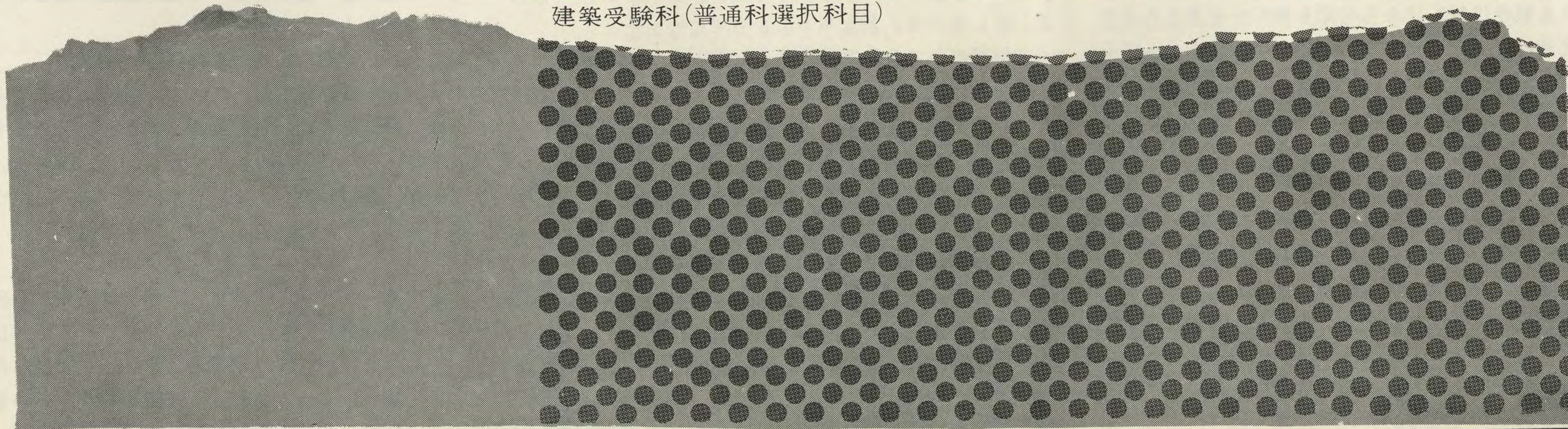
東京都杉並区高円寺3-184 地下鉄 / 新高円寺・バス / 馬橋下車3分
TEL (311) 7975・(312) 7371 学則〒100円

DK 御茶の水美術学院
学校法人 | 服部学園 東京都千代田区神田駿河台2の3 TEL (201)8736-8 御茶の水駅前

学校法人 | 服部学園 東京都千代田区神田駿河台 2 の 3 TEL (201) 8736-8 御茶の水駅前

■ **デッサン部** (普通科1年制) | 素描・日本画・油絵(人体実習)

■**デザイン部**(普通科1年制・研究科3年制) | 鉛筆画・着彩画・商業デザイン・基礎一般
建築受験科(普通科選択科目)



歓喜、倦怠、憎悩そして絶望工2 | 宗形恒明

これは昨年の今ごろであったと思うが、工芸科のある学生が、新入生次から四年次に至る各学年の性格をシニカルに言った事がある。これは芸大に特有のルートであって、学生の大半が進級とあいまってたどる道だ、というようなことであった。それ以来、他の学生も同じようなことを言っているのを、度々耳にしている。誰もが少なからず経験していったことであろうし、誰もが口にする言葉で、とくにとりあげてここで云々するほどのものでもないかもしれない。しかし卒業後に不安と期待をもっと通常言われている最終年次の学生が「絶望」と言う言葉によって表現された所に問題があると思うし、そこからは、単なる一時的な言葉であるとして聞き流す事の出来ない、工芸科生、ひいては芸大生全体めの重要な教訓として受けるに足るものがある。

一個の学生の、学生時代に送る精神的経路であることかもしれないこれらのことが、とりわけ芸術創造の道が精神的な自己との対決、闘いを通して、難辛苦、切り開いて行かなければならないとする過程の途上であることに違いないとしても、学生時代の最終段階にきて、独善におちいり、「絶望」感を抱いたまま学生時代を閉じなければならぬとあっては、あまりに悲創的すぎやしないか。

彼らから、なぜそのような事になったかは、別に聞いてはいないが、彼らの性格や問題意識は別としても、そうならざるをえなかった理由は、色々あろうが、一つには、学生生活そのものの意義が、芸大ではあまりにも軽視されているという事である。その意義が「話をする」ことであると言っても過言ではない。スポーツ、文化サクル等があるが、それらにもまして、クラスあるいは科全体の中で話す事が必要なのである。そこでは「話のポーズ」はとりにくいものである。われわれには、本当の意味での話をする事が、まったくとは言わないが欠けている。「話をする」ことは、体験的事実と現状認識の確認が自己啓発を行 得ることからして、その必要性を感じるのであるが。

昨年の芸術祭に、工芸科で初めての討論会がもたれたしかし、以後それらしきものは見られない。さみしい限りと言う外はない。クラスでも何回かの討論の場たるものをゼミ形式で設けてはいるが、それとて積極的に参加するものは極めて少ない。一体皆はどこに学生生活の意義なるものをみ出しているのか。この時期に——敢えて交流などと大袈裟な事は言はないが——進んで持とうとしない事が、いざ学生時代を閉じる段階になって、無気力の弁解でしかない「絶望」などと吐かなければならなくなるのである。

「——人と人との出会いは運命的である。その人に会ったと云うことは自分の人生に、何らかの意味あるいは、重大な意味を持つ。人間の形成は自分の努力にもよるが出会った人がどのような人であったかによって大きく左右される。出会いの経験と思い出は生産消えることの無い印を残す。人は師に会い、友に会い、夫または妻に会う。世界中のすべての人々を調べて、その人を師とし、

友とし、夫または妻にえらぶわけではない。その出会いは偶然であり、しかもそれが人生を形づくり、方向を定めるのである。よい人に出会うのは一生の幸福である。出会いは偶然であるが、よい人に出会うためにはこれを求める必然が自分になければならない」とは昭和二十一年の朝日新聞に載っていたことである。

われわれは、もっと泥にまみれていい。こざれいに納まっている必要はない。それは学生時代にしかできないことであるかもしれない、少なくとも学生という名において、それは自然である。

マンネリズム

芸術祭のために数多くの企画がなされ、その中で、今年の芸術祭は今までとはちがった新しいものにしようと論議される。ここで問題になるのは、「マンネリズム」に陥ることは避け、新鮮な魅力あるものにしようとする事である。

この考え方は、一方では、発展性があり、革新的であるという正しい面があるが、他方には、現在の日本を支配している資本主義的な考え方が存在しているという悪い面がある。

「マンネリ化」を避け打解しようとする努力は、その結果何か新しいもの・新鮮なものが求め得られれば果されるであろうか。

今まであったもの、概成なものに対する破壊は、いったい何のためになされたらよいのか。変革の目的はどこにあるのだろうか。マンネリ化回避の目標は何なのかをはっきり意識しなくてはならない。

○ 商業主義は、本質的に新しいもの、今までにないものを追求してやまない。

例えば服装を考えれば一目瞭然であろう。

昨年とはちがった新しいファッション、スタイルを必ずシーズン毎につくり出す。そしてそれをマス・コミを通じて知らせる。店頭には昨年までのものは一切排して、新しさを強調し、古いものは販売しない。そのため、街には流行にマッチしたものがあふれる。古い型は流行遅れで閉め出しを喰い、商業主義はなりたつ。服装ばかりでなく、すべての日常品がそうになっている。とりわけ社会生活の表面に出る目立つものは著しい。デザインが変わったのではなくスタイルが変わったにすぎない。

○ しかし新しい材料、原料開発に伴う進歩、生活環境の変化による変革などすべてを否定しようというのではない。時代の発展に伴って起る変化は、当然考えなくてはならない。マンネリ化回避の考え方は、この歴史の発展によって起る変化とは全く別なものである。

マス・コミによって新しいものが宣伝されるという現在我々の考え方も商業主義的な新しさを求めているのではないかと思うのである。商業主義はなんとかして人をひきつけて自分のものにしようとする。日夜マス・コミの

中にいる我々は、知らず知らずのうちに、意識しないでマス・コミの力に動かされてしまう。マス・コミによって知らされてないものは無価値なもの、必要でないもの知らなくても良いものになってしまう。野球など、TVで見たり実際に観戦しても、次の日の新聞を見ないと気が済まない。いわばチュウインガム的な思考を重ねている。

マンネリ化回避の考え方、新しさの発想には、商業主義的な基盤が存在しているのではないだろうか。

○ ある時代の支配的な思想は、その時代の支配者階級の思想である。

現在の日本にある主な芸術の思潮は、今の日本を支配している人々のものである。

国を支配するには、政治、経済、軍隊、国家権力の他に思想、文化が必要である。芸術も支配の手段である。芸術も階級的な刻印が押されている。

芸術が新しい様式を求め、表現領域を追求する中に、商業主義的な新しさ、マンネリ回避の新鮮な魅力、奇抜さがある、マス・コミの中に入ろうとする意図が存在するならば、現在の支配的な、主流の中に身を置こうとする意志のあらわれであり、現実の社会を肯定し変革を否定し、商業主義、資本主義に味方をする立場であるといえよう。そのようなマンネリ回避、新しさは、芸術の本める所ではなく、縁もゆかりもないものである。求真の芸術がなす変革は、社会の変革となる。

それ以外の変革は、一見変革に見えようと、商業主義の目新でありすべて、支配者の立場を支持するものである創造はこの社会の変革である。

マンネリ回避の理論は、商業主義的なものを基盤にする危険なものであると思う。

「聞いたこともない話」

自治会

私達の先輩方は、今どのような仕事をし、生活しているのか、私達は卒業後どうして行こうとしているのか、現在困っていること、又私達の仕事の分野は今の社会において、どのような状態に置かれているのか、現在我々をとりまく世界の情勢はどのようになっているのだろうか。

こう考えて来ると、近頃日本人としてどうしても我慢ならん事が多すぎる。横須賀に原子力潜水艦が来る事にも、政府はアメリカの安全性の審査に通っているから、日本では審査しない。……として条件の異なる日本の港における安全性などもうどう考えようとしな。ただアメリカ様のなさることは、全部御信頼申し上げます。……

■殿様と一緒に梨を食う奴は、「こんなに結構な梨はい。」という。……原子梨……

■バカな事をするのと、バカな事を認めるのは好一对のバカげたことだ。……

そして原子力潜水艦の寄港に反対して、社会党も、総評も、学生も、共産党も、無党派の人、自民党の良心ある人も、科学も学者、宗教者も、日本人全部が立ち上がった。その反対統一行動の日。アメリカの悪名高き水爆積載戦闘機、F 105D サンダーチーフが厚木の町に突込んだ。

同じ日、米第7艦隊空母「ボノム・リチャード」所属のF8Uクルセイダージェット戦闘機がすぐ近くの大和市の民家、館野鉄工所に突込み、仕事中の二人が即死し四人が大けがをして家は火だるまになるという惨事が、起った。

■隣の家が燃えるのを見たら、自分の家も燃えると思うべし。……

この原因は何なのか？いつまたなんどき私達の頭の上からこんなものが降って来るか分らない。日本に基地がある限り。もうすでに日本は核武装されてしまっている。私達の国をよその国の者に売り渡して甘い汁をすっている人種がいる。これらの人は本当の日本人とは言えない。

もし日本を舞台に核戦争が引き起されれば、日本にいる米軍家族と池田さんは、真先きに沖縄から羽田から、アメリカに逃げ帰ってしまうだろう。後に残された日本以外には行くところもない私達日本人は、戦争の餌食とされてしまう。

■梨のあとで酒を飲むと坊主の御庖介だ。……

アメリカの引き起した戦争の身代りとして殺されてしまうだろう。その上日本を核武装して、自衛隊を徴兵令で増強させ、憲法改悪で日本の兵隊を海外に派兵させ、アメリカの肩代り戦争をさせようとしている。人のふん

どしで相模をとるとは、うまく考えたものだ。ところがどっこい日本人はそんなにバカではない。

■猫を仕立てて、燃えるロウソクを口にくわえるほどに馴らすことは出来る。だが鼠を見てもすぐに跳びついて行かない程馴らすことは出来ない。……

天性は教育にまざる。……

だから今、日本中で戦争準備に反対している。親子一丸となって従属の政策に反対している。それに私達は日本人だ。このような屈辱にはいつまでも耐えているものではない。

■人民から憎まれるものは一国の長であり得ない。……

■殿様がわるいからといって、よい畑を放っておいてはならない。……

いまや、私達の日本という家に火がついてしまっている。この火をとやかく言う前に、一家総出で早くふみ消さなくては、大変な事になる。今までおおいかくされていたベールをはぎ取って真の日本の姿を引っぱり出してよおく見つめてみようではないか。そうすれば私達が今、どうすればよいかが各々に、はっきりして来ると思う。

■事実をはっきり見ながら判断をあやまる者は、知りながら愚行をなす。……

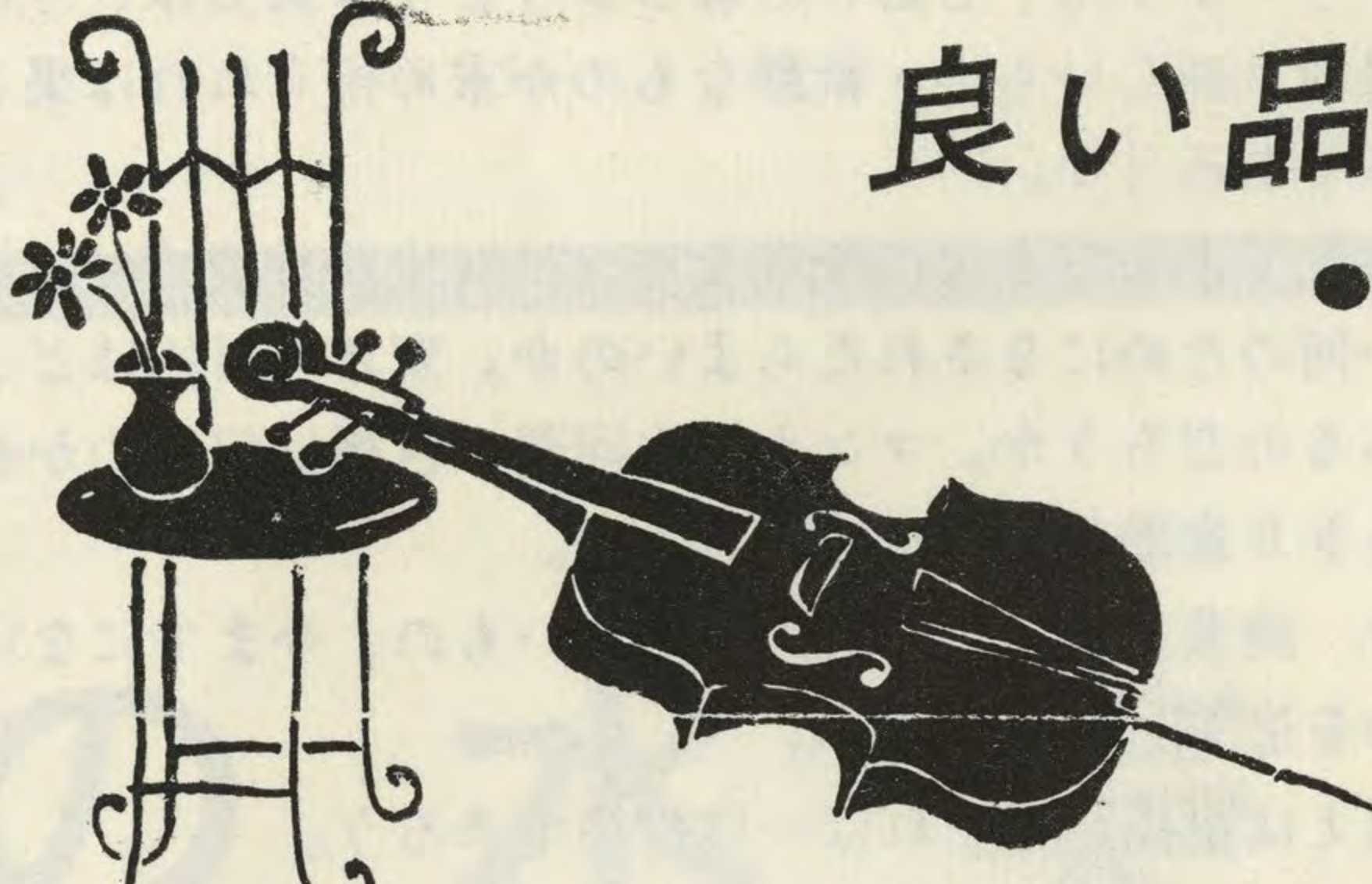
芸術祭に期待する

学友会

走馬灯の如く今年も我等の文化典がやって来た。我々、日頃アポロンの神々に何等かの手段を以って仕えている若き群像にとって、この四日間は貴重なる時間の移行であることを自覚させねばならぬと思う。過去幾度かは訪れ去っていった「四日間」と云う空間の中で、否、「芸大」という空間で何を求め、何を吸収せんとしていたのだろうか。確かに「四日間」の僅少な時間内では何を求めれば良いのだろうかと思われるのであろう。しかしこの「四日間」は我々：芸術を表すものにとって単に、何を求め、何を吸収すべきなのか、何故にアポロンの神殿に近づこうとするのか等を自己に問いかけ、亡却し易い個々の使命を再び想起させ、又は「それら」を見つめ

てゆく発端の一拠点となれば、この「四日間」の意義は十中八九、果されたものではないだろうか。すなわち、芸術祭に期待する学友会、及び自治会の「ネライ」は全てここに集中するのである。この事が、そう！この「ネライ」への追求が単に学友会中心部のみに終止する事は我等の期待しないものである。我等の期待するものは、この「ネライ」への追求が我等を取り巻く全ての若き群像によって、思慮され、更に実現になって来てくれたならと云う事である。この四日間に自主的な演奏を試みる数ある群像、アンサンブルに取り組む若き群像、コンチェルトに挑む彼等、現代音楽に対処する彼等、古典音楽演奏を味わい吟味する群像、宗教音楽に浸る彼等、日本の古典なる邦楽演奏に清新な姿を浮き出させる若き群像、更にはこの「四日間」の多彩なる下準備に努力を惜まな

い群像；私は呼びかける。この紙上から。「芸大」に在する群像；否、仲間達！！又地上に在する全ての仲間達、この「四日間」意義を知って欲しいのです。それはどんな僅かなものでも良い。それがあなたの創作、そう！！あなた自身の創作、創造に、又はあなた自身の人生に、ほんの少しでも「躍進させる発端」を生み出してくれるものなら、我々学友会は「それ」を期待するのです。そしてその「動力」、「躍進力」が来るべく来年の年にその「積み重ね」が出来てくれるよう我々は期待するのです。この「四日間」は四日間に消え去るものではないのです。この事はマンネリ化しつつある我々の祭典に新風を呼び、より有意義なる「四日間」となる事を期待しつつ口上を終りたく思います。



良い品を伝統ある店で…

● 楽器・楽譜・レコード・ステレオ ●

《ミュージック・クレジット》
取扱い全商品を6・10・15・20回均等分割

銀座	十字屋
本店 中央区銀座3の2 TEL 561-5186(代)	

SCHWESTER PIANO

シュベスターピアノ製造株式会社

タッチの良さ、陶醉を招く音色、最高の仕上げに依り御使用になる皆様の御気持ちを敏感に反映するピアノ・それがシュベスターです。

昭和四年創立

東京都大田区北糀谷町2482番地
TEL (742) 1415
1416

伝統と良心的作品

カタログ
進呈

ニ デイアパソンピアノ・オルガン



浜松楽器

本 社	静岡県浜松市寺島町200	電話(54)2 1 3 1
東京営業所	東京都中央区銀座1-5	電話(561)7090・7085
大阪営業所	大阪市東区備後町4-41	電話(261)2716 5077~9
福岡営業所	福岡市天神町75-3	電話(74)4 2 9 1
名古屋出張所	名古屋市中区東万町2-3	電話(20)3 6 1 7

お砂糖はこのマ ク

精製糖
甜菜糖
結晶葡萄糖

横浜精糖



取締役社長 鈴木昇 本社・工場 横浜市西区西平沼1ノ1
東京営業所 東京都中央区八重洲1ノ2ノ4(大和証券ビル7階)
岡山工場 岡山市築港元町5

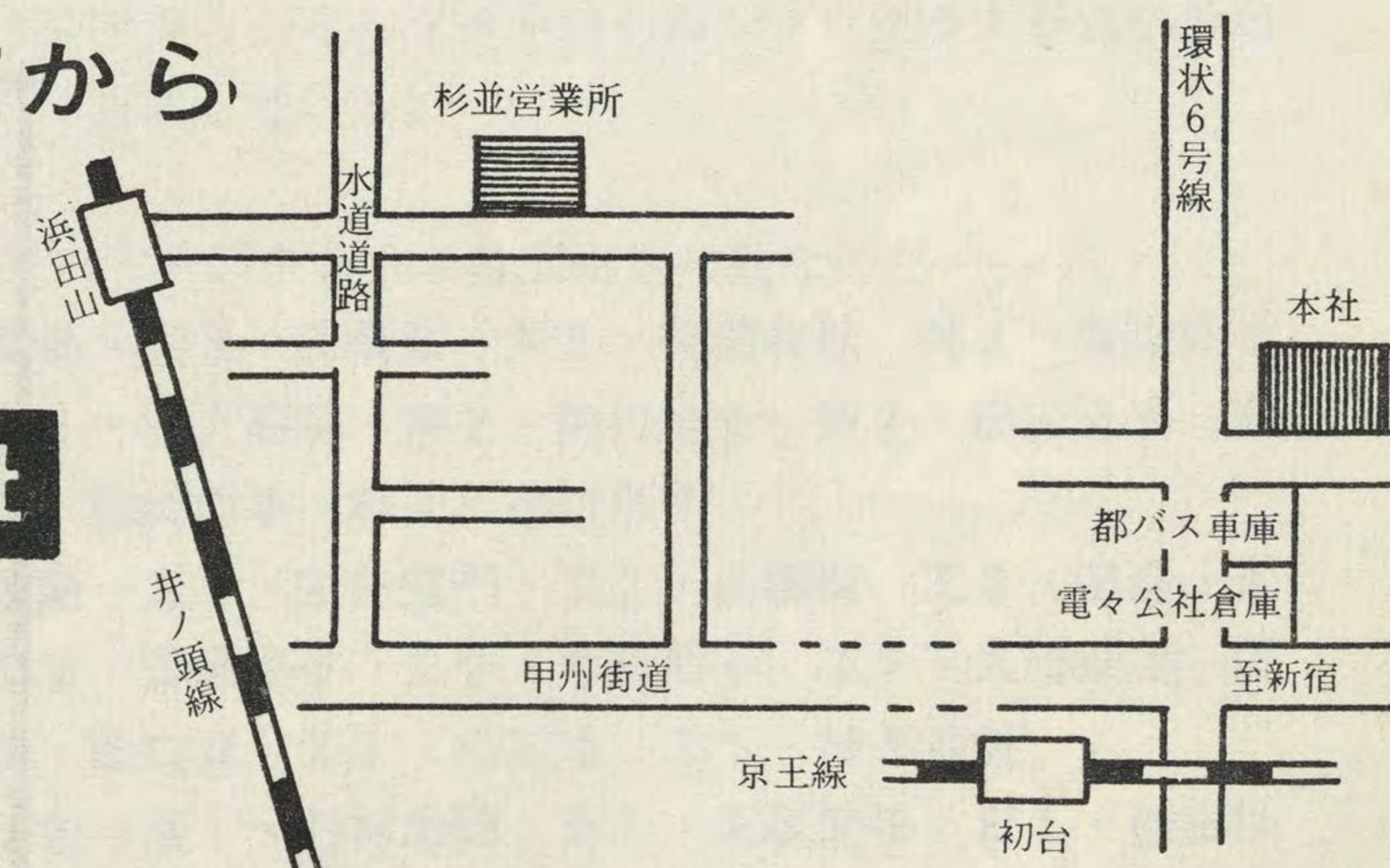
御買上げは整備の行届く専門店から

スバイル

ラビット

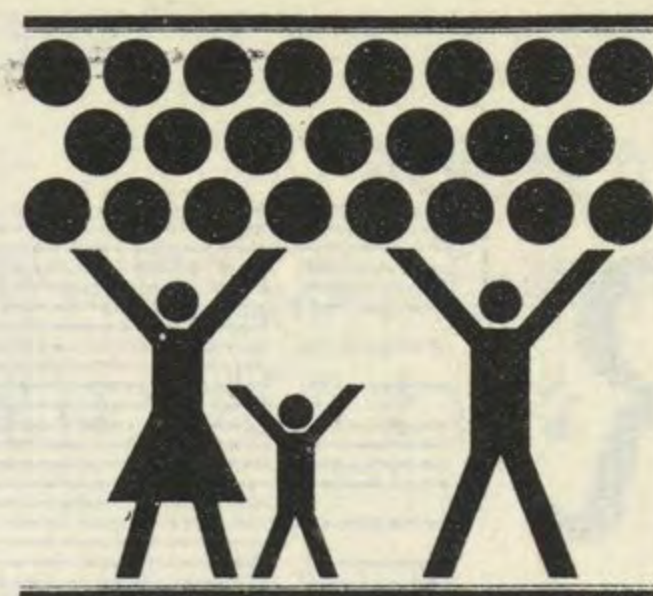
不二スバル自動車株式会社

本 社 新宿区角筈3-180
TEL (362) 1271(代表)
杉並営業所 杉並区下高井戸4-983
TEL (312) 6361(代表)

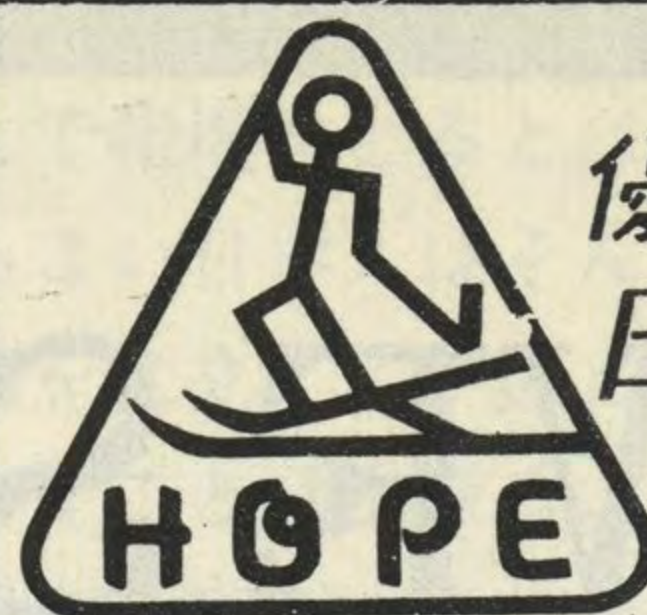


本店 東京丸の内・新東京ビル
 宛町営業部 (212) 7531
 (671) 1211

日興證券



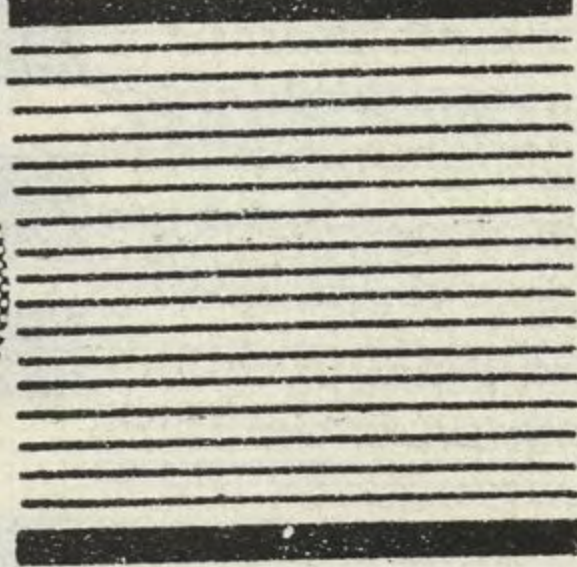
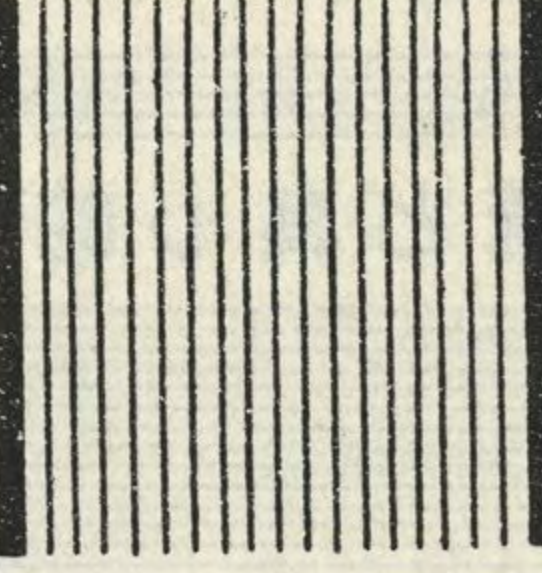
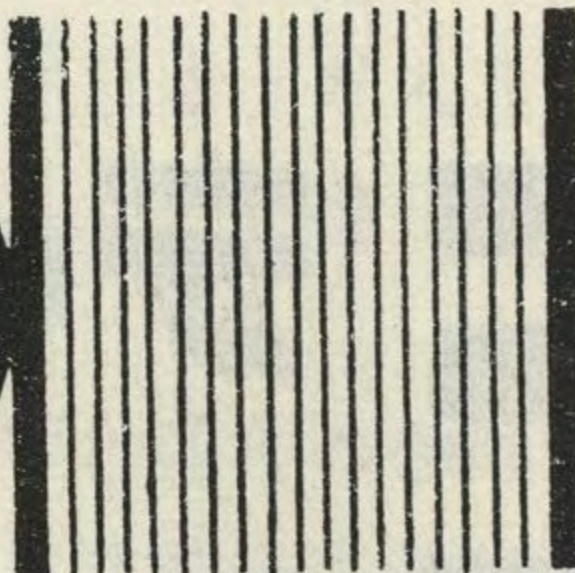
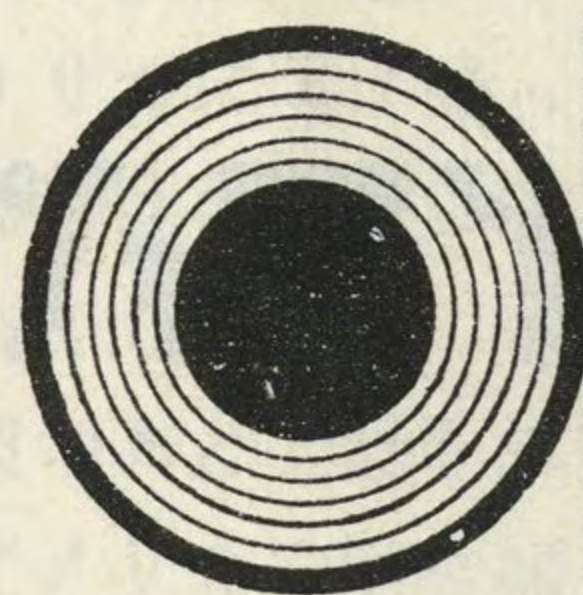
マナービルなら
 日興です



優れた用具
 日本の最高峰

ホープ。ED

飯塚運動具製造株式会社



ピアノとともに60余年
 フクヤマピアノの歴史は
 日本のピアノの歴史です

フクヤマピアノ



■本社 千代田区神田錦町2 (291) 0361代
 ■神田店 ■銀座店 ■渋谷店 ■横浜店



* 世界の名曲を聞こう!

ポピュラーから…クラシックまで——
 すべてのレコードを豊富に取りそろえております。

■レコード ■ステレオ
 ■テレビ ■音響製品
 ■ピアノ ■オルガン
 ■各種楽器 ■楽譜



ミュージック・ストア

コタニ

新宿店・百合ヶ丘店
 (351) 4151(代) 登戸91-2710



スカッとさわやか

コカ・コーラ

登録商標



東京 コカ・コーラ ボトリング 株式会社
 TOKYO COCA-COLA BOTTLING CO., LTD. コカ・コーラ指定会社



3779
G
10-1

有限会社 鶴川楽器店

東京都中央区宝町1-4 (561) 1872

定評のある 北川楽器店

東京都武蔵野市中町2-15-11 0422(2)5570

有限会社 伏見屋増田楽器店

東京都文京区湯島天神町3-10 (831) 5795

株式会社 邦楽社

東京都港区芝西久保桜川町1 (591) 7271

博信堂

東京都中央区日本橋室町1-16 (241) 5915

宮田楽器店

東京都中央区日本橋蛸殻町1-15 (671) 3802

編集後記

噴水の水は飛び散った。とたんにやっぱり秋が来た。動物園で鹿がないた。とたんにやっぱり秋が来た。隣りの生徒は頭に来て、それでは動物たちに負けまいと、ようやく秋らしく筆をとる。上野の秋は緑の秋。秋が来れば又ハッスルする。若者の胸の内。何事かを為さんと、時代をひっくりかえそうと。自分らのルネッサンスに胸ふくらます。帰る夜道の上野の森に、噴水は緑色に光る。

みんなが、ガヤガヤ言っているらしいから、こっちも、ワイワイ言っ、もうそろそろ、うちに帰って勉強するか、本を読むか、それとも寝るか。そうでもなかったら起きていよう。もしかして、途中で何か食べたくなったら、ちょっと休んで、それから勉強するか、本を読むか寝るか、そうでもなかったら起きている事にしよう。

文化会館、喫茶店、5時になると閉め出しをくう教室、そして最後大浦の汚ない食堂において、わが芸術祭プロは生れようとしている。仕事をしていると、いろんな人がいるものだなとちょっぴりばかりわかるもの。それだけでも、やったかいがありました。

トマトの赤味に青エノグを注入し、電話ボックスの窓に、タバコを押しつけた。小さな子を力まかせに、押したおし、犬を棒切れでひっぱたく。

友人関係、家族関係、創作のことetc……。全てが自分の気持の中での出来事のような……。自分の一番言いたいことを、どうしてもっと問いただしてみないのか。全てをはぎとった後の核のようなものを視ると同時に体を通して自分のものにしなければならない。現実には多くの矛盾を感じているからには……。

芸大の芸術祭でプログラム委員ほど割の合ぬ仕事はない。この夏休みは殆どその仕事で棒に振った。そうなることがわかっていてこの仕事に飛び込んだのだから僕という人間もオメデタイ奴かもしれない。体の方は養命酒とアリナミンとフトールミンを飲んで何とか維持したが学校が始まってからの第2部の制作で課題の方は一向にススマズ。しかしグチを言わぬがプログラム委員の根性だと自負している。

それでもプログラムは芸術祭の顔なのだ……。

編集=油3・斉藤重 声3・岡田有弘 邦2・青柳和彦 声2・竹沢嘉明 声2・関口雄士 声2・田辺保子 声3・宮崎博子 声4・北村京子

美術=工2・安井宏門 工2・山田栄 工2・田島一夫 工2・斉藤尚子 工2・中村昌子 工2・久山晒三 工2・田口真 工1・小川南 工1・神子島巖

広告=芸1・石村忠昭 芸1・玉置愛子 日1・秋山玲子 日1・西尾由美子 油1・尾崎由枝 油1・酒井宏子 声3・福田ミヤ子 邦2・西潟昭子

印刷=草土印刷工業株式会社〈1・2号とも〉



3779

G
10-1

有限会社

鶴川楽器店

東京都中央区宝町1-4 (561) 1872

定評のある

北川楽器店

東京都武蔵野市中町2-15-11 0422(2)5570

有限会社

伏見屋増田楽器店

東京都文京区湯島天神町3-10 (831) 5795

株式会社

邦楽社

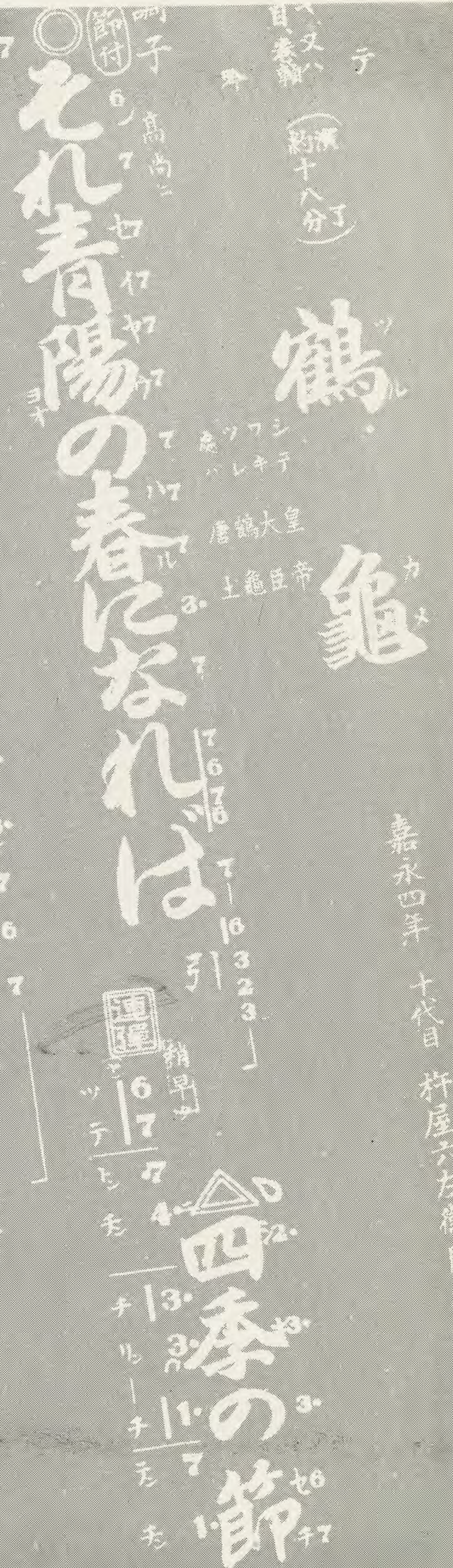
東京都港区芝西久保桜川町1 (591) 7271

博信堂

東京都中央区日本橋室町1-16 (241) 5915

宮田楽器店

東京都中央区日本橋蛸殻町1-15 (671) 3802



嘉永四年

十代目

杵屋六左衛門



1 美術学部本館

彫刻展彫刻科23年
芸術学科展芸術学科
洋画展油画科1234年
日本画展日本画科1234年
版画展版画研究会
人形劇公演人形劇団フーフー
四美大交流会自治会

2 野外彫刻展彫刻科

3 彫刻教室・油画教室

彫刻展彫刻科1年
油画展油画科12年

4 フレスコ教室・モザイク教室

壁画展壁画クラブ

5 美術学部新館

デザイン展工芸科1234年
建築展建築科123年
写真部展写真部
パネルディスカッション自治会

6 油画教室

油画展油画科12年

7 野外ステージ・ステージ前広場

音楽・ダンスパーティー
サロン・その他

8 合唱ホール・ロビー

講演会・映画会・サロン

9 奏楽堂・16室

演奏会・作品発表会
楽理科講演楽理科
講演会

10 陳列館・正木記念館

染織資料展・その他(特別開館)

● 模擬店

あますけ日本画科
みかげや彫兵衛彫刻科
ダンモ声楽科
マントバーニ弦楽科
陽気妃芸術学科
ドロン工芸科
ばあべきゅう油画科
葵邦楽科
いろはに鳳建築科
VIVO 管楽科